

岐阜市文化観光推進地域計画

～ 岐阜城・鵜飼から広がる岐阜の歴史・文化を巡る ～



岐阜城跡



長良川の鵜飼漁の技術



岐阜市歴史博物館



加藤栄三・東一記念美術館



岐阜城天守閣



岐阜市長良川鵜飼伝承館



CASA stella

令和7年6月

ぎふ歴史遺産活用推進協議会

岐阜市文化観光推進地域計画

目 次

1. 実施体制	2
2. 事務の実施体制	3
3. 計画区域	5
4. 基本的な方針	
4-1. 現状分析	
4-1-1. 主要な文化資源	8
4-1-2. 観光客の動向	15
4-1-3. 他の地域との比較	21
4-2. 課題	23
4-3. 文化観光拠点施設を中核とした文化観光の総合的かつ一体的な推進のため 取組を強化すべき事項及び基本的な方向性	25
4-4. 文化の振興を起点とした、観光の振興、地域の活性化の好循環の創出	28
5. 目標	29
6. 目標の達成状況の評価	34
7. 中核とする文化観光拠点施設	35
8. 地域文化観光推進事業	
8-1. 事業の内容	
8-1-1. 文化資源の総合的な魅力の増進に関する事業	43
8-1-2. 地域内を移動する国内外からの観光旅客の移動の利便の増進 その他の地域における文化観光に関する利便の増進に関する事業	46
8-1-3. 地域における文化観光拠点施設その他の文化資源保存活用施設と飲食店、販売店、 宿泊施設その他の国内外からの観光旅客の利便に供する施設との連携の促進に 関する事業	47
8-1-4. 国内外における地域の宣伝に関する事業	49
8-1-5. 1.～4.の事業に必要な施設又は設備の整備に関する事業	50
8-2. 特別の措置に関する事項	
8-2-1. 必要とする特例措置の内容	53
8-2-2. オブジェ等の設置に関する取組等	53
8-3. 必要な資金の額及び調達方法	54
9. 計画期間	56

岐阜市文化観光推進地域計画

1. 実施体制

協議会	名称	ぎふ歴史遺産活用推進協議会		
申請者① 協議会の構成員で ある市町村又は 都道府県	名称	岐阜市	所在地	岐阜県岐阜市司町 40 番地 1 〔協議会事務局〕 ぎふ魅力づくり推進部文化財保護課
	代表者	岐阜市長 柴橋 正直		
申請者② 中核とする 文化観光拠点施設 の設置者	施設の 名称	(1) 岐阜市歴史博物館	施設 所在地	岐阜県岐阜市大宮町 2 丁目 18 番地 1
		(2) 加藤栄三・東一 記念美術館		岐阜県岐阜市大宮町 1 丁目 46 番地
		(3) 岐阜城天主閣		岐阜県岐阜市天主閣 18 番地 (金華山頂)
		(4) 岐阜市長良川鵜飼 伝承館		岐阜県岐阜市長良 51 番地 2
	設置者の 名称	岐阜市	設置者 所在地	岐阜県岐阜市司町 40 番地 1 〔担当課〕 (1)～(2) ぎふ魅力づくり推進部歴史博物館 (3)～(4) ぎふ魅力づくり推進部 観光コンベンション課
	代表者	岐阜市長 柴橋 正直		
申請者③ 中核とする 文化観光拠点施設 の設置者	施設の 名称	(5) CASA stella	施設 所在地	岐阜県岐阜市玉井町 6
	設置者の 名称	特定非営利活動法人 ORGAN	設置者 所在地	岐阜県岐阜市湊町 45
	代表者	理事長 蒲 勇介		
申請者④ 文化観光推進 事業者	名称	公益財団法人岐阜観光 コンベンション協会	所在地	岐阜県岐阜市神田町 1 丁目 8 番地の 5 (協和興業ビル 6 階)
	代表者	理事長 村瀬 幸雄		
申請者⑤ 文化観光推進 事業者	名称	名古屋鉄道株式会社	所在地	愛知県名古屋市中村区名駅一丁目 2 番 4 号
	代表者	代表取締役社長 高崎 裕樹		
申請者⑥ 文化観光推進 事業者	名称	岐阜観光索道株式会社	所在地	岐阜県岐阜市千疊敷下 257 番地
	代表者	代表取締役社長 桑原 敏朗		
申請者⑦ 文化観光推進 事業者	名称	JNF うかいミュージアム	所在地	岐阜県岐阜市長良 51 番地 2
	代表者	代表構成員 株式会社 JTB コミュニケーション デザイン 代表取締役 藤原 卓行		
申請者⑧ 文化観光推進 事業者	名称	協同組合岐阜市土産品 協会	所在地	岐阜県岐阜市村山 1 丁目 61 番地
	代表者	代表理事 藤吉 里美		

2. 事務の実施体制

<協議会>

○ぎふ歴史遺産活用推進協議会

- ・岐阜市文化観光推進地域計画（以下「本計画」という。）の作成及び推進
- ・本計画の進捗管理、評価分析及び変更
- ・本計画に関係する団体や事業との調整
- ・本計画に基づく計画区域全体での事業の実施

〔協議会構成員〕

- | | |
|---------------------------------------|----------------------|
| 岐阜商工会議所 | 岐阜市旅館ホテル協同組合 |
| ◎協同組合岐阜市土産品協会 | 一般財団法人岐阜市未来のまちづくり財団 |
| 公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団 | ◎公益財団法人岐阜観光コンベンション協会 |
| ◎岐阜市（市長公室、企画部、都市建設部、教育委員会、ぎふ魅力づくり推進部） | |

※◎は文化観光拠点施設の設置者または文化観光推進事業者を兼ねる団体

〔事務局〕 岐阜市ぎふ魅力づくり推進部文化財保護課

<文化観光拠点施設の設置者>

○岐阜市（ぎふ魅力づくり推進部）（施行規則1条2項1号事業者）

- ・計画区域全体における観光・文化振興施策やインバウンドの推進
- ・文化観光拠点施設（以下「拠点施設」という。）の運営
〔所管〕 歴史博物館：(1) 岐阜市歴史博物館 (2) 加藤栄三・東一記念美術館
観光コンベンション課：(3) 岐阜城天守閣 (4) 岐阜市長良川鶴飼伝承館
- ・本計画に基づく拠点施設での事業の実施
- ・本計画に基づく文化観光推進事業者（以下「推進事業者」という。）との連携による事業の実施

○特定非営利活動法人 ORGAN（地域連携DMO（岐阜市・関市・美濃市・郡上市））（施行規則1条2項1号事業者）

- ・重点区域（長良川流域）における観光地域づくり（担い手支援、観光商品販売、ガイド等人材育成）
- ・岐阜公園官民連携にぎわい創出事業（Park-PFI）の構成法人
- ・拠点施設の運営 〔所管〕 (5) CASA stella
- ・本計画に基づく拠点施設での事業の実施
- ・本計画に基づく重点区域での事業の実施
- ・本計画に基づく推進事業者との連携による事業の実施

<文化観光推進事業者>

○公益財団法人岐阜観光コンベンション協会（地域DMO候補法人）（施行規則1条2項1号事業者）

- ・計画区域全体における観光地域づくり（広報、宣伝、誘致、受入等）
- ・継続的なマーケティング情報の収集及び分析
- ・本計画に基づく計画区域全体での事業の実施

○名古屋鉄道株式会社（施行規則1条2項2号事業者）

- ・計画区域と名古屋都市圏（名古屋駅、中部国際空港等）を結ぶ鉄道事業の運営
- ・岐阜公園官民連携にぎわい創出事業（Park-PFI）の代表法人
- ・本計画に基づく拠点施設と連携した事業の実施

○岐阜観光索道株式会社（施行規則1条2項2号事業者）

- ・重点区域（金華山周辺）における施設（ロープウェー、展望レストラン、カフェ、売店等）の運営
- ・岐阜公園官民連携にぎわい創出事業（Park-PFI）の構成法人
- ・本計画に基づく拠点施設と連携した事業の実施

○JNF うかいミュージアム（施行規則1条2項2号事業者）

- ・岐阜市長良川鶴飼伝承館の指定管理者（3社で構成）
- ・本計画に基づく拠点施設での事業の実施

○協同組合岐阜市土産品協会（施行規則1条2項2号事業者）

- ・計画区域等で土産品を企画・販売する団体（25社で構成）（菓子、鮎加工品、グッズ等）
- ・本計画に基づく拠点施設と連携した事業の実施

<連携・協働体制>

・各種関連計画との連携

■ 岐阜市未来のまちづくり構想

方向性 活気あふれる仕事と交流のあるまちへ（持続可能な観光まちづくり）

■ 岐阜市文化財保存活用地域計画

将来像 歴史観光に訪れたくなる、魅力あふれるまち

基本方針 価値の共有、市民と共に育む、魅力を伝えるための活用

■ 日本遺産を通じた地域活性化計画

将来像 雅で驚きに満ちた信長公の「世界」を感じられる文化観光都市

■ 岐阜市観光ビジョン

基本理念 稼げる岐阜観光を目指して ～観光振興による産業活性化

重点アクションプラン 戦国城下町の観光活用、岐阜観光ブランド・魅力創出

■ 観光地域づくり法人形成・確立計画（岐阜観光コンベンション協会）

戦略 地域における観光を取り巻く背景、地域の強みと弱み、
ターゲット、観光地域づくりのコンセプト

■ 岐阜公園再整備基本計画

コンセプト 信長公の鼓動が聞こえる歴史公園

～史跡岐阜城跡の歴史と金華山・長良川の自然を未来へつなぐ歴史公園～

■ ぎふ長良川鶴飼かわまちづくり計画

達成すべきミッション 長良川右岸プロムナード観光活用、回遊性の向上

・協議会が本計画に基づく連携・協働体制を総括

・協議会、拠点施設の設置者、推進事業者は、各々の役割や目的に応じて、本計画に基づく事業の実施主体となる。

・本計画に基づく事業成果や取組の方向性等については、市内のステークホルダーで構成する「未来の岐阜ツーリズム会議」（DMO会議）でも情報を共有

[未来の岐阜ツーリズム会議構成員]

岐阜商工会議所

岐阜長良川温泉旅館協同組合

一般社団法人岐阜ホテル会

一般社団法人日本旅行業協会岐阜県支部

東海旅客鉄道株式会社

◎名古屋鉄道株式会社

岐阜乗合自動車株式会社

岐阜市周辺観光タクシー運営協議会

◎岐阜観光索道株式会社

※◎は拠点施設の設置者または推進事業者を兼ねる団体

[事務局] 公益財団法人岐阜観光コンベンション協会

◎協同組合岐阜市土産品協会

岐阜市商店街振興組合連合会

岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会

株式会社十六フィナンシャルグループ

一般社団法人岐阜県観光連盟（地域連携DMO）

岐阜市まちなか案内人の会

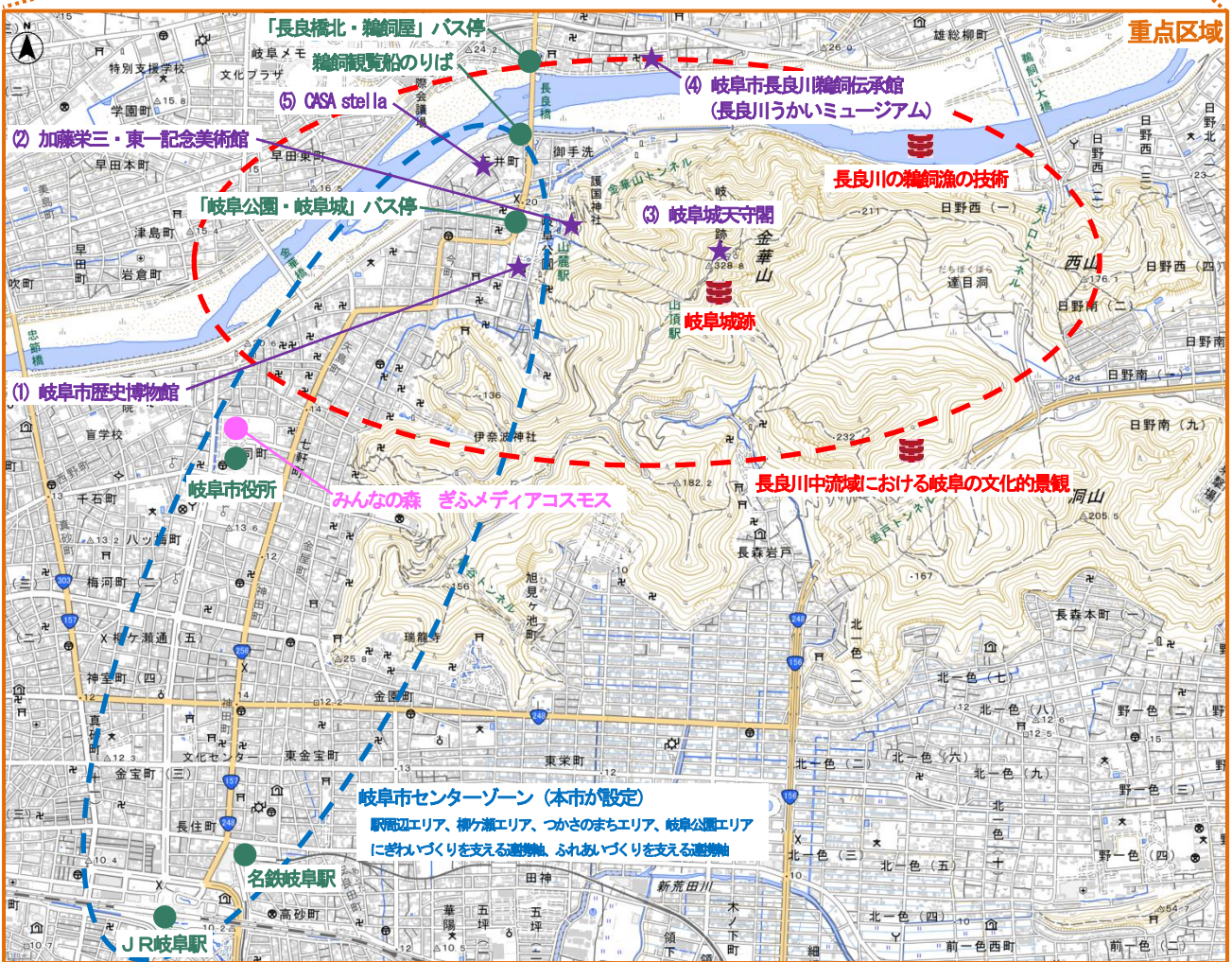
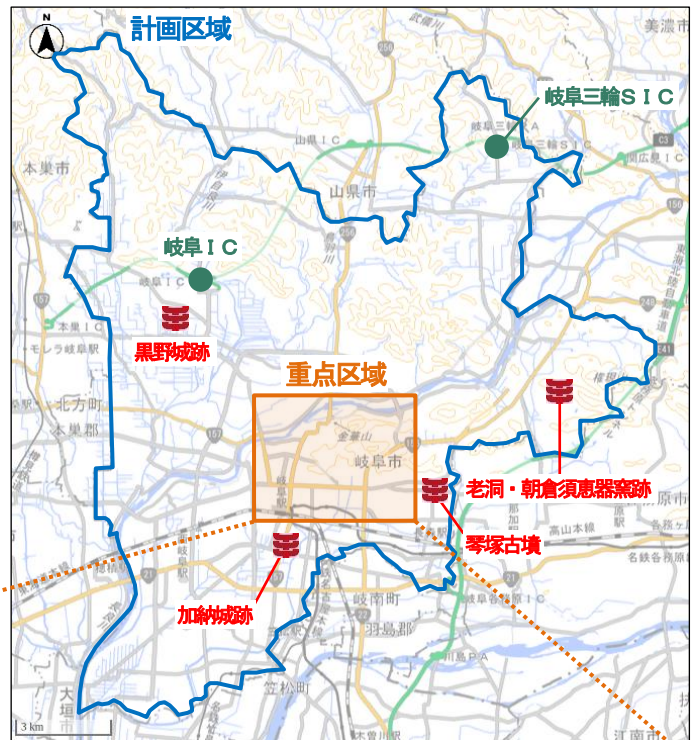
◎特定非営利活動法人ORGAN（地域連携DMO）

◎岐阜市

◎公益財団法人岐阜観光コンベンション協会（地域DMO）

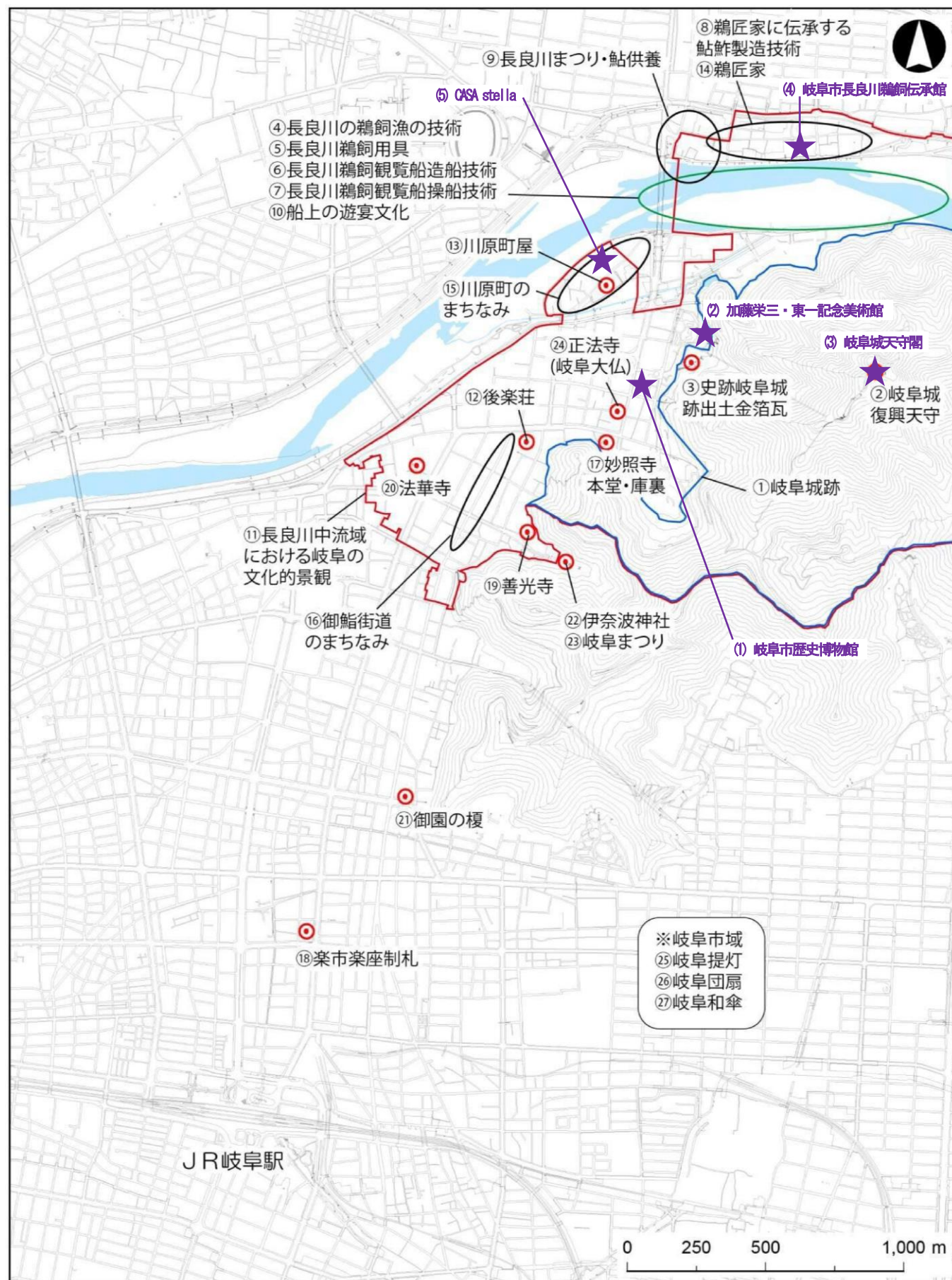
3. 計画区域

本市の多様な文化資源の活用を念頭に、岐阜市域全体を計画区域に設定。また、計画期間内に特に重点的に事業を進めるエリアとして、拠点施設が集中する金華山・長良川周辺エリアを中心、JR 岐阜駅及び名鉄岐阜駅周辺から岐阜公園までをつなぐ「岐阜市センターゾーン」を重点区域に設定した。なお、金華山・長良川周辺エリア一帯は、日本遺産「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜」の構成文化財が集中するエリアでもある。

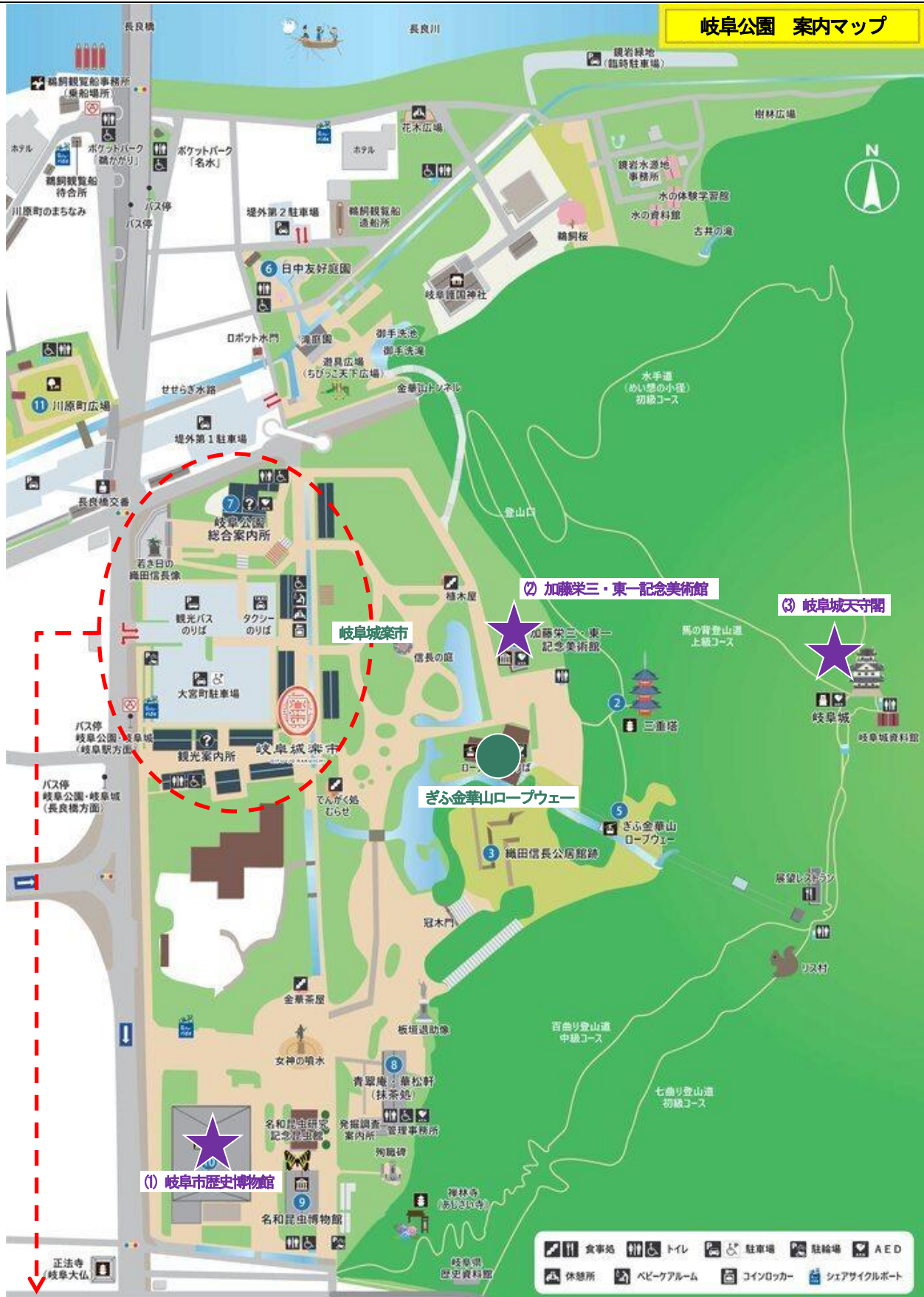


★ …文化観光拠点施設 〓 …主な文化財 ● …運動施設 ● …各種施設

重点区域内における日本遺産「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜」の構成文化財位置図



岐阜公園 案内マップ



「岐阜城楽市」入口



観光案内所



各種店舗



駐車場

4. 基本的な方針

4-1. 現状分析

4-1-1. 主要な文化資源

1 主要な文化資源の全体像

■ 岐阜城・鵜飼



岐阜城跡（国史跡）



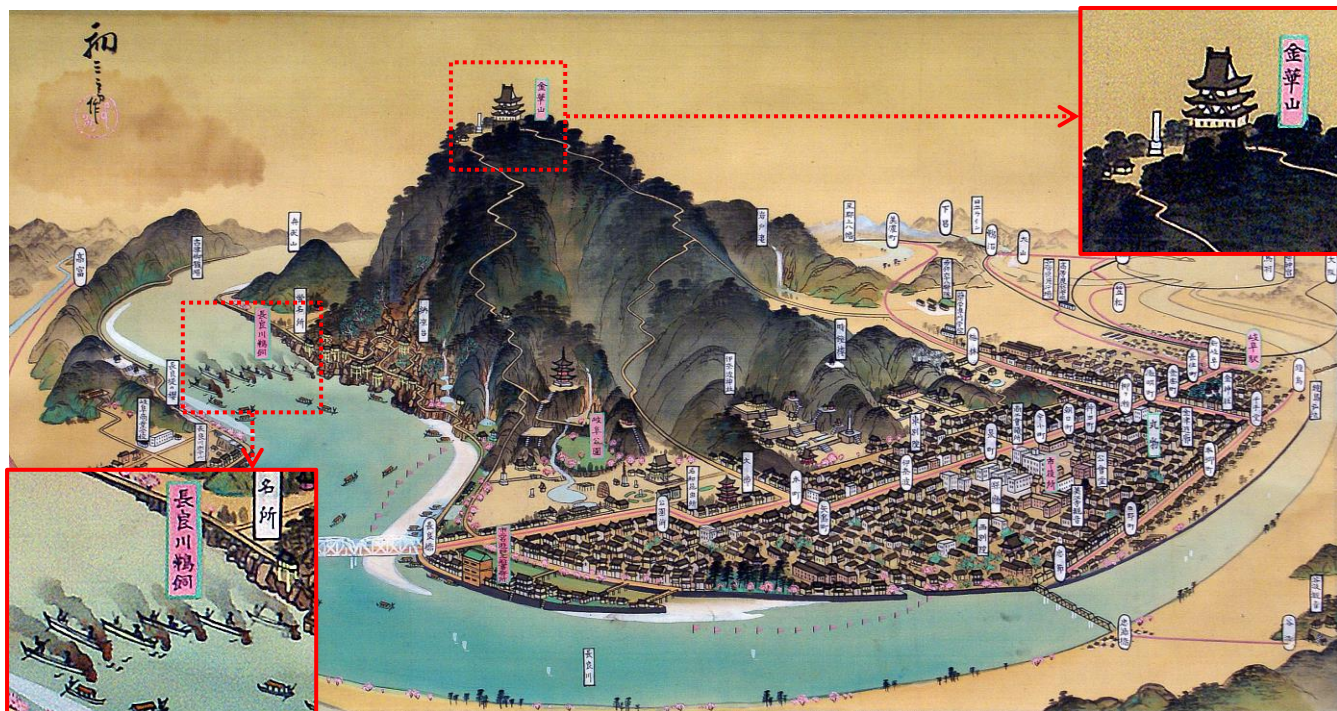
長良川の鵜飼漁の技術（国重要無形民俗文化財）

本市の中核となる文化資源は、岐阜城と鵜飼である。

岐阜城（稲葉山城）は、戦国時代に美濃国を治めた斎藤道三が整備し、織田信長がさらに発展させた山城である。山上部の城郭と山麓部の居館を中心に、標高 329m の金華山全体を天然の要害として機能させている。織田信長が天下統一の拠点とした城であること、ポルトガルの宣教師レイス・フロイスの記録が残されていること、貴重な庭園が見つかったことなどが評価され、金華山一帯が「岐阜城跡」として国の史跡に指定されている。

長良川中流域で行われている鵜飼は、鵜匠と呼ばれる漁師が鵜を巧みに操り、鮎などの魚を捕らえる伝統漁法である。1,300 年以上の歴史を有し、織田信長、松尾芭蕉、チャールズ・チャップリンなど、多くの著名人が鵜飼を観覧している。長良川の鵜匠は全国で唯一「宮内庁式部職鵜匠」に任じられ、「長良川の鵜飼漁の技術」は国の重要無形民俗文化財に指定されている。

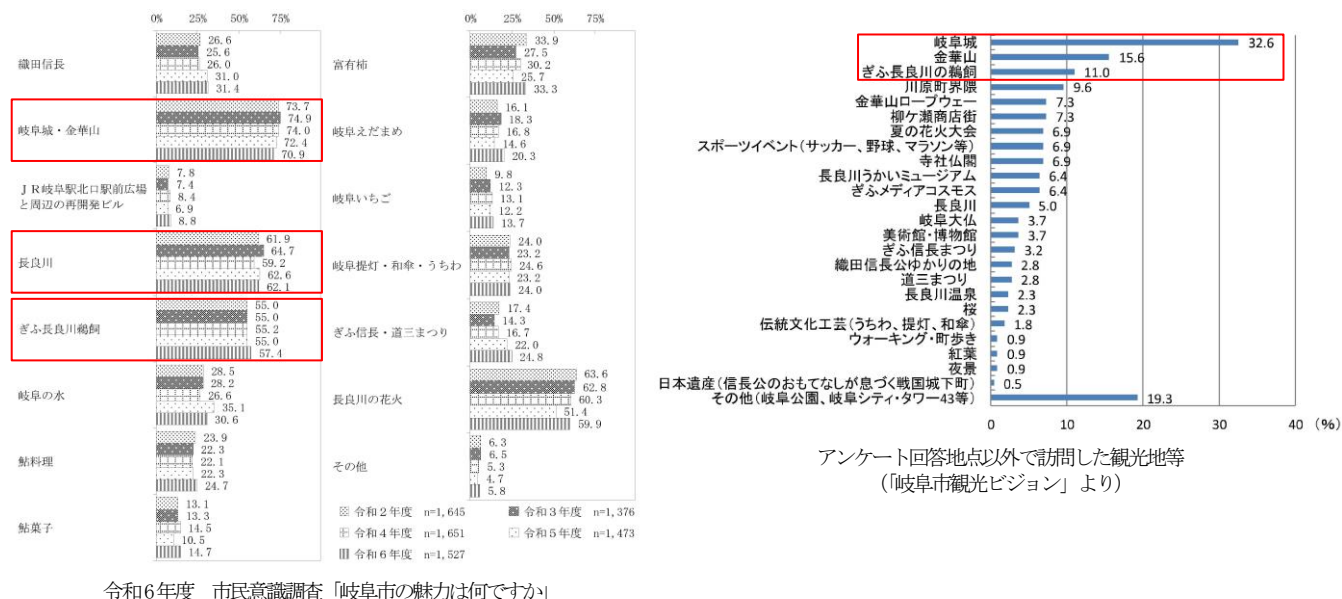
近代以降は、岐阜城と鵜飼を中核に、金華山・長良川周辺エリアを観光客・市民に向けて整備してきた。明治 15 年に岐阜公園を開園、明治 43 年に初代の復興天守を建設。その後焼失するが、昭和 31 年に再建した二代目は、現在も本市のシンボルとなっている。昭和 2 年には市営の鵜飼観覧船事業が始まり、平成 24 年には鵜飼の伝統文化を通年学ぶことができる施設として、岐阜市長良川鵜飼伝承館（長良川うかいミュージアム）を長良川右岸に開設した。



岐阜市鳥瞰図（昭和初期、吉田初三郎作、岐阜市歴史博物館蔵）

当時の観光パンフレットの原図として描かれた本資料は、岐阜城・鵜飼をはじめ、本計画の重点区域を網羅している

また、市民意識調査による本市の魅力を尋ねるアンケート結果に対しても、岐阜城と鵜飼の回答者が特に多い。「岐阜市観光ビジョン」策定時に実施したアンケート結果を見ても、多くの観光客が岐阜城と鵜飼を訪れていることが分かる。



■ 日本遺産：「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜

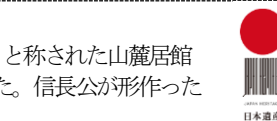
こうしたことから、本市では岐阜城と鵜飼の文化的価値を高めるため、調査研究を積み重ねてきた。岐阜城跡の山麓部における発掘調査では、巨石を用いた遺構や大小様々な庭園遺構、金箔飾り瓦等が確認されており、居館全体が自然地形を活かした巨大な庭園空間を形成し、迎賓館のような機能を有していたであろうことを明らかにした。近年実施している山上部の発掘調査でも、庭園の存在をうかがわせる円礫やかかわらけ等が出土している。鵜飼についても、鵜飼漁の技術の習俗調査を皮切りに、鵜飼用具、鵜飼漁を支える関連技術、文化的景観など、多岐にわたる調査を実施してきた。特に、文化的景観の調査成果により、「長良川鵜飼を支える諸空間」「長良川水運を主軸とする流通・往来の構造」「金華山麓に栄えた都市」という3つの構造を持つ「長良川中流域における岐阜の文化的景観」が国の重要文化的景観に選定されている。そして、これらの調査成果に基づき、岐阜城と鵜飼をはじめとする多様な文化資源を、織田信長を主人公としたストーリーにまとめたものが、日本遺産「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜」として認定されている。日本遺産の構成文化財は27件であるが、そのうち岐阜城に関わるもの3件、鵜飼に関わるもの7件、文化的景観に関わるもの8件を数え、半数以上を岐阜城と鵜飼が占めている。

<ストーリー>

岐阜城を拠点にして天下統一を目指した織田信長公。信長公は、長良川での鵜飼観覧、「地上の楽園」と称された山麓居館など、冷徹なイメージを覆すような信長流のおもてなしで、ルイス・フロイスら世界の賓客をも魅了した。信長公が研作った城、町、川文化が「信長公のおもてなしの心」とともに、現在も岐阜の町に息づいている。

<構成文化財>

- ・岐阜城に関わるもの…岐阜城跡、岐阜城復興天守、史跡岐阜城跡（織田信長居館跡）出土金箔飾り瓦
- ・鵜飼に関わるもの…長良川の鵜飼漁の技術、長良川鵜飼用具、長良川鵜飼観覧船造船技術、長良川鵜飼観覧船操縦技術、鵜飼匠家に伝承する鮎鱈製造技術、長良川まつり・鮎供養、船上の遊宴文化
- ・文化的景観に関わるもの…長良川中流域における岐阜の文化的景観、後楽荘（日本料理店）、川原町屋（喫茶店）、鵜飼家、川原町のまちなみ、御園街道のまちなみ、正法寺（岐阜大仏）、妙照寺本堂・庫裏、善光寺
- ・その他…染市楽座附織田信長百姓帰住制札、法華寺、御園の榎、伊奈波神社、岐阜まつり及び山車、岐阜提灯、岐阜団扇、岐阜和傘



岐阜城復興天守



長良川鵜飼観覧船操縦技術

■ ぎふ歴史遺産：岐阜を舞台とした戦国時代のドラマ、自然と人々の営みが育んだ岐阜の歴史文化

加えて、「岐阜市文化財保存活用地域計画」では、日本遺産を中核としてその周辺を巡ることができる7つの岐阜市版日本遺産ストーリーを設定し、ストーリーに紐づく7つの関連文化財群を「ぎふ歴史遺産」としている。本市の歴史文化の特徴を踏まえた「岐阜を舞台とした戦国時代のドラマ」と、その背景となった「自然と人々の営みが育んだ岐阜の歴史文化」で構成し、岐阜城と鵜飼はもとより、様々な文化資源を分かりやすくストーリーにまとめている。

【岐阜を舞台とした戦国時代のドラマ】

<ストーリー>

戦国時代は岐阜市の礎が築かれ、日本史上重要な舞台となった時代である。土岐氏や斎藤道三による先進的なまちづくり、織田信長の天下統一とおもてなし、織田秀信から始まる新時代の都市経営や関ヶ原の戦いなど、岐阜は全国に大きな影響を与えた。

※ぎふ歴史遺産：「おもてなしの原風景」＝日本遺産：「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜

<構成文化財>

加納城跡、黒野城跡、正法寺跡、鷺山城跡、枝広館跡、織田塚、伝織田塚改葬地、道三塚、織田信長父子廟、土岐成頼墓、斎藤妙椿墓、奥平信昌夫妻墓、土岐政房墓、斎藤道三像・義龍像、豊臣秀吉像、常在寺、崇福寺、円徳寺 等

【自然と人々の営みが育んだ岐阜の歴史文化】

<ストーリー>

岐阜市は都市のすぐ近くに豊かな自然がある。人々は自然の恵みを享受し、ある時は水害と戦いながら生活を営んできた。また日本の中央に位置する岐阜は、古くより政治的・軍事的に重要な位置を占める交通の要衝であり、街道や河川の交通網を通じて絹などが都へ運ばれ、和紙や竹の文化が発達した。斎藤道三が、信仰の対象であった金華山（稲葉山）を本格的な山城とし、山麓に水運を基軸とした城下町を造り上げたのは、このような地の利があったからである。戦国時代に醸成された鶴飼観覧や遊宴文化は、江戸時代以降も受け継がれ、人々は領主が異なっても協力して一つの祭りを行うなど、独特の絆や文化が育まれた。岐阜の歴史文化は、多様な地勢と戦国城下町の出来事が相互に影響を与えながら形成されたといえる。

<構成文化財>

清流長良川の鮎、三輪神社と山県用水、則武輪中跡、尉殿堤跡、中將姫誓願ザクラ、老洞・朝倉須恵器窯跡、正法寺岐阜大仏、中山道加納宿・河渡宿、琴塚古墳、厚見寺跡、岐阜まつり、葛懸神社禊祭り、手力雄神社火祭り、鶴匠装束（藁製品）製作技術 等



日本遺産・ぎふ歴史遺産のストーリー構成及び主な構成文化財

なお、4-3「基本的な方向性」で示すとおり、本計画のコンセプトは「岐阜城・鵜飼から広がる岐阜の歴史・文化を巡る」としており、日本遺産の構成文化財・ストーリーが周遊の核となっている。日本遺産の構成文化財の磨き上げに関する取組は「日本遺産を通じた地域活性化計画」において重点的に実施することとし、本計画では日本遺産やぎふ歴史遺産を活かした解説の充実や周遊・滞在の促進等に資する取組に注力する。

■ 指定文化財

【岐阜市の指定文化財の状況】

時代別にみると、原始15件、古代29件、中世91件、戦国35件、近世44件、近代4件（民俗文化財、名勝、天然記念物、文化的景観、登録文化財を除く）となっており、中世～戦国時代の文化財が約6割を占める。

区 分		国指定・選定	県指定	市指定	国登録	計
有形文化財	絵画	3	18	38		59
	彫刻	8	16	26		50
	工芸	3 (内1点国宝)	14	13		30
	書跡	1	2	12		15
	典籍		1	3		4
	古文書	1				1
	考古	1	1	8		10
	歴史			2		2
民俗文化財	建造物		6	10	30	46
	有形	1	1	3	1	6
記念物	無形	1	1	8		10
	史跡	4	7	25		36
	名勝			2		2
	天然記念物	植物 地鉱	1 2	19 2		22 2
文化的景観		1				1
登録文化財	建造物	30				30
	有形民俗	1				1
計		56	70	167	16	296

【国指定等文化財】

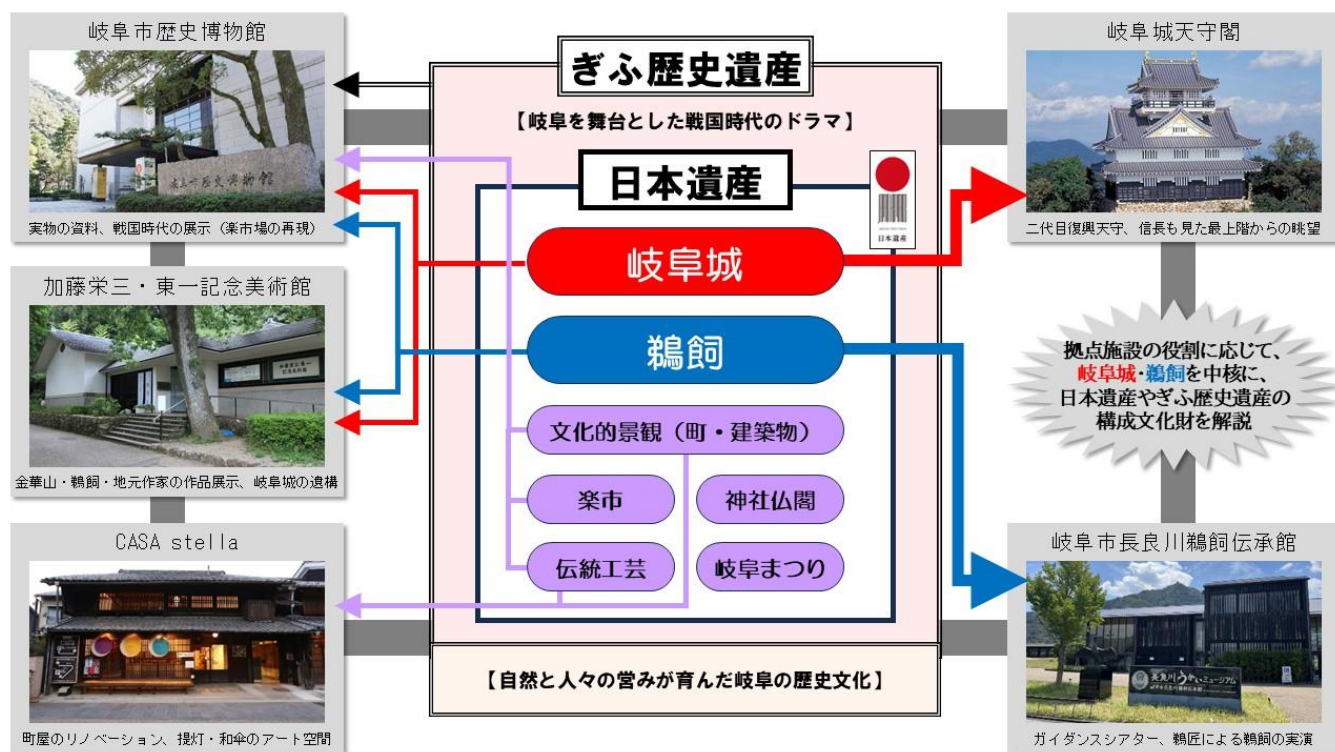
文化財分類	名称
重要文化財（絵画）	絹本着色斎藤道三像・斎藤義龍像、裸婦図、絹本着色兜率天曼荼羅図
重要文化財（彫刻）	木造薬師如来立像、木造千手観音坐像、木造千手観音立像、木造毘沙門天立像、木造韋駄天立像、木造釈迦如来坐像、木造毘沙門天立像、乾漆十一面観音立像
重要文化財（工芸）	金銅獅子唐草文鉢【国宝】、太刀 銘景依造、太刀 銘兼氏
重要文化財（書跡、古文書、考古）	寸松庵色紙、楽市楽座制札附織田信長百姓帰住制札、岐阜県老洞一号窯跡出土品
重要有形民俗文化財	長良川鵜飼用具
重要無形民俗文化財	長良川の鵜飼漁の技術
史跡	琴塚古墳、老洞・朝倉須恵器窯跡、加納城跡、岐阜城跡
天然記念物	中將姫誓願ザクラ
国選定文化的景観	長良川中流域における岐阜の文化的景観
登録有形文化財（建造物）	名和昆虫博物館、鏡岩水源地旧エンジン室・旧ポンプ室、岐阜公園三重塔、葛西家住宅主屋・長屋門、震災記念堂、旧松喜仏壇店店舗兼主屋、旧櫻井銘木店店舗兼主屋・土蔵、空徳屋店舗兼主屋・土蔵、抱石庵、藤田家住宅主屋・土蔵、旧青木家住宅（エグゼクス・ガーデン）表門、市原家住宅主屋・長屋門、後藤家住宅主屋・離れ・旧郵便局舎・土蔵・門・地蔵覆屋、真龍寺本堂・玄関及び茶室・鐘楼・山門、岡本家住宅茶室・待合
登録有形民俗文化財	岐阜提灯の製作用具及び製品

2 拠点施設の概要

本計画における5つの拠点施設では、岐阜城・鵜飼を中核に、日本遺産やぎふ歴史遺産の構成文化財に関わる紹介を行っている。

岐阜市歴史博物館では、豊富な実物資料をもとに本市の歴史全体を展示しているが、特に戦国時代に比重を置いている。一方、岐阜城天守閣、岐阜市長良川鵜飼伝承館では、それぞれ岐阜城、鵜飼に特化した展示を行っている。また、加藤栄三・東一記念美術館では、美術作品を通じて岐阜の文化を紹介しているほか、CASA stellaでは、岐阜和傘・岐阜提灯にクローズアップし、伝統工芸品の美と、職人の技に触れることのできる展示、販売を行っている。

いずれの拠点施設も、金華山・長良川周辺エリア一帯に集中しており、徒歩または自転車で行き来することのできる位置関係にある。また、このエリアでは、令和7年4月に岐阜公園内で観光商業施設「岐阜城楽市」がオープンするなど再整備が進んでおり、今後の観光誘客増に向けた素地は整いつつある。



主要な文化資源と拠点施設との関係性

(1) 岐阜市歴史博物館

- 市民が郷土の歴史と文化に親しみ、その知識と理解を深める生涯学習の場として、昭和60年11月開館。本市の歴史や文化資源全般について総合的に学ぶことができる。平成8年12月より公開承認施設
- 所蔵資料と寄託資料を合わせ、国指定・登録文化財7件、県指定文化財22件、市指定文化財31件を収蔵。稲葉城趾之図（伊奈波神社所蔵）や長良川鵜飼用具など、岐阜城や鵜飼に関わる資料も多数収蔵している。
- 戦国時代の展示に力を入れ、「楽市立体絵巻」（楽市場の再現）では、織田信長が津田宗及を茶会でもてなした際の料理の復元模型や、戦国時代の着付け体験が来訪者の好評を得ている。



織田信長に関する展示



織田信長の料理の復元模型



「楽市立体絵巻」

(2) 加藤栄三・東一記念美術館

- ・平成3年5月、財団法人「加藤栄三・東一記念館」として開館。発足にあたって地元の政財界が尽力。その後岐阜市に移管され、岐阜市歴史博物館分館「加藤栄三・東一記念美術館」に改称
- ・加藤栄三・東一両画伯は岐阜市美殿町出身の兄弟日本画家。鵜飼や金華山をテーマとした作品を多く描き、日展を舞台に活躍。全国的に高い評価を受けるとともに市民にも親しまれている。
- ・両画伯の作品を中心に、3,500点ほどの素描作品、200点ほどの本画作品を収蔵している。両画伯が描いた鵜飼の絵葉書などは土産品として人気が高く、作品を通じて鵜飼や岐阜の自然の美しさを紹介
- ・展示では両画伯の画業を顕彰するとともに、地域の芸術文化振興のためジャンルを問わず多様な作家の作品を紹介。また、岐阜城山麓居館の発掘調査にて検出された蒸し風呂の竈を、当館休憩ロビーに移築復元し、公開している。



第1展示室



両画伯の写真パネル・絵道具の展示



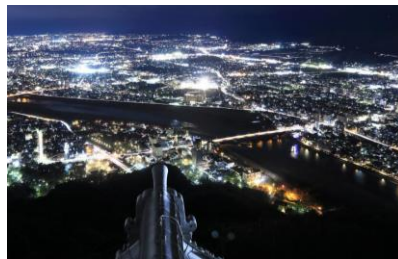
休憩ロビー（蒸し風呂の竈遺構）

(3) 岐阜城天守閣

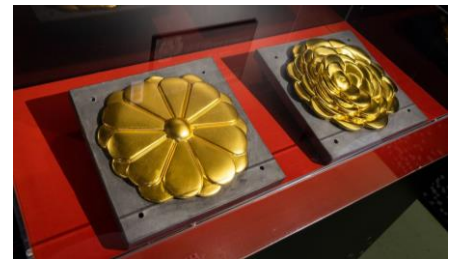
- ・江戸時代以来、天守のなかった城跡に明治43年復興天守が建設されるが、戦時中の昭和18年2月に焼失。現在の城は、昭和31年7月、岐阜城再建期成同盟によって復興。建物自体が重要な文化的景観の重要な構成要素かつ日本遺産の構成文化財となっている。
- ・本市センターゾーンのうち、「歴史を感じられる 本物志向の観光拠点岐阜」をコンセプトとした「岐阜公園エリア」を来訪する多くの人々が目的地とし、年間約30万人の観光客が訪れる。
- ・天守閣内部は織田信長との関わりに焦点を当て、グラフィックや映像等による解説を行っている。最上階からは360度の眺望が広がり、戦国城下町・岐阜の全体を俯瞰できる山上部見学の拠点となっている。開館時間を夜間まで延長する「岐阜城パノラマ夜景」も来訪者の好評を得ている。



最上階からの眺望



岐阜城パノラマ夜景



金箔飾り瓦の復元の展示

(4) 岐阜市長良川鵜飼伝承館（長良川うかいミュージアム）

- ・長良川右岸に位置し、鵜匠の家に隣接。文化の伝承と観光の振興に寄与することを目的に、平成24年8月オープン。鵜飼シーズンの5月11日から10月15日までは、一部指定日を除き休館日なしで営業している。
- ・絵巻物型の巨大なスクリーンと原寸大の鵜舟が一体となったガイドンスシアター、鵜飼と鵜匠に関する展示解説、鵜の生態展示、目の前で鵜が鮎を捕らえる様子が見られる鵜飼の実演など、観覧船からは知ることのできない鵜飼の多様な魅力を紹介している。
- ・長良川と金華山が一望できるカフェを併設。地元の食材を使ったランチや鵜飼観覧船に持ち込むための弁当のほか、食事をしながら、景色と鵜飼を同時に楽しむことができる場所として人気を博している。



ガイドンスシアター



巨大な鵜の模型



Beer & BBQ 長良川GARDEN

(5) CASA stella

- ・日本の和傘生産の7割近くを担う岐阜和傘と、盆提灯で最も有名な岐阜提灯、世界的彫刻家イサム・ノグチが岐阜の提灯職人との協働で生み出した照明「AKARI」という三つの「光」をテーマに、令和7年3月オープン。現代に息づく岐阜の伝統工芸の革新を発信、伝統工芸を未来へつなぐための、伝統と革新が融合する新たな拠点施設
- ・鶺鴒観覧船乗り場からほど近い川原町地区に位置することから、まち歩きをしながら文化資源について学ぶことができる。
- ・建物はかつて和紙原料問屋を営んでいた歴史ある町家をリノベーションしたもので、岐阜市都市景観重要建築物に指定。館内では、和傘や提灯の展示に併せて、伝統工芸の歴史や製作工程などをパネルで解説している。



和傘 CASA



和傘の解説パネル



AKARI gallery

3 連携施設（みんなの森 ぎふメディアコスモス）

- ・JR 岐阜駅及び名鉄岐阜駅と岐阜公園エリアの中間に位置し、本市センターゾーンのうち、「多様な人々による新たな交流とシビックプライドの創出」をコンセプトとした「つかさのまちエリア」に所在。「知の拠点」の役割を担う市立中央図書館、「絆の拠点」となる市民活動交流センター、多文化交流プラザ及び「文化の拠点」となる展示ギャラリー等からなる複合文化施設として、平成27年7月オープン
- ・1階のメインエントランス付近には、過去・現在・未来にわたる岐阜の魅力を伝える情報集積のシンボルエリア「シビックプライドプレイス」を開設。検索端末等により、小さな観光やまち歩きに繋げる情報発信が行われている。2階の中央図書館には、特集本棚が設置された「シビックプライドライブラリー」を開設。定期的に企画展示が行われている。
- ・県内外から観光客を含む多くの来訪者があることから、他の拠点施設への中継地点としての機能が期待できる。



外観



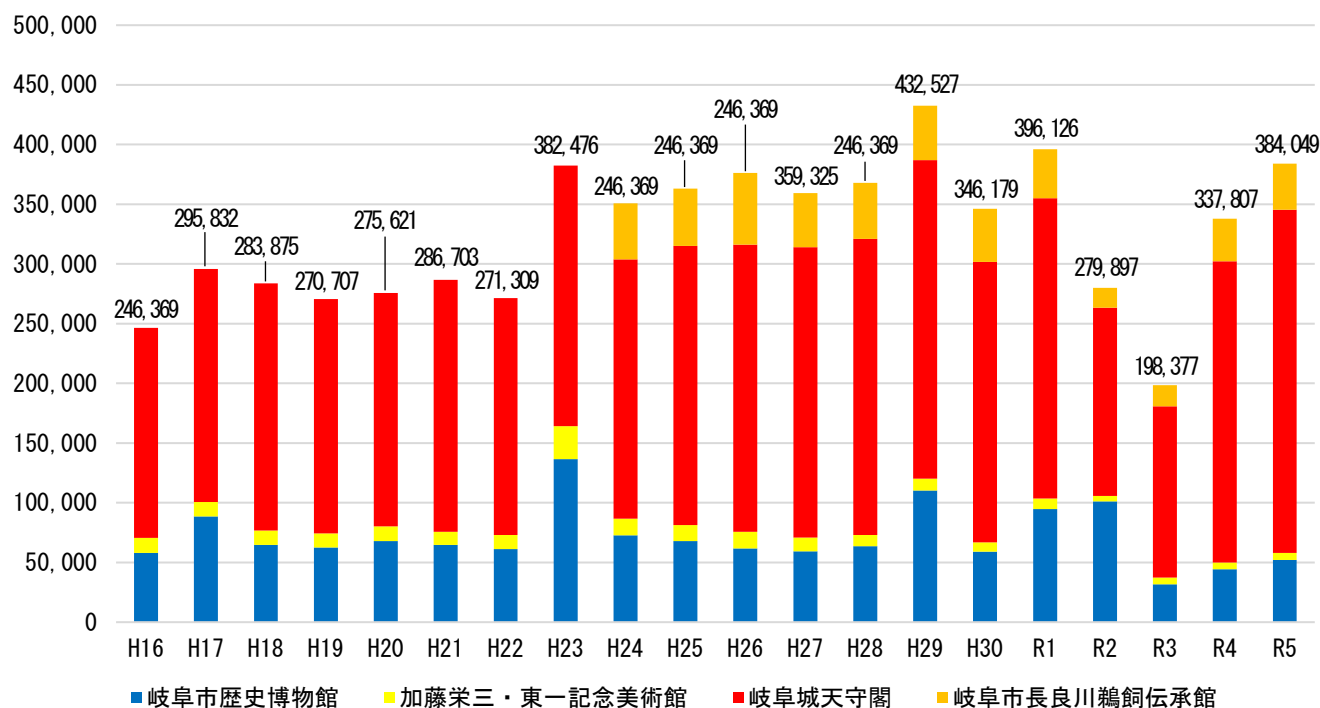
シビックプライドプレイス



シビックプライドライブラリー

4-1-2 観光客の動向

<拠点施設観覧者数（有料）合計の推移（単位：人）> （出典）岐阜市観光統計、各拠点施設からのデータ収集



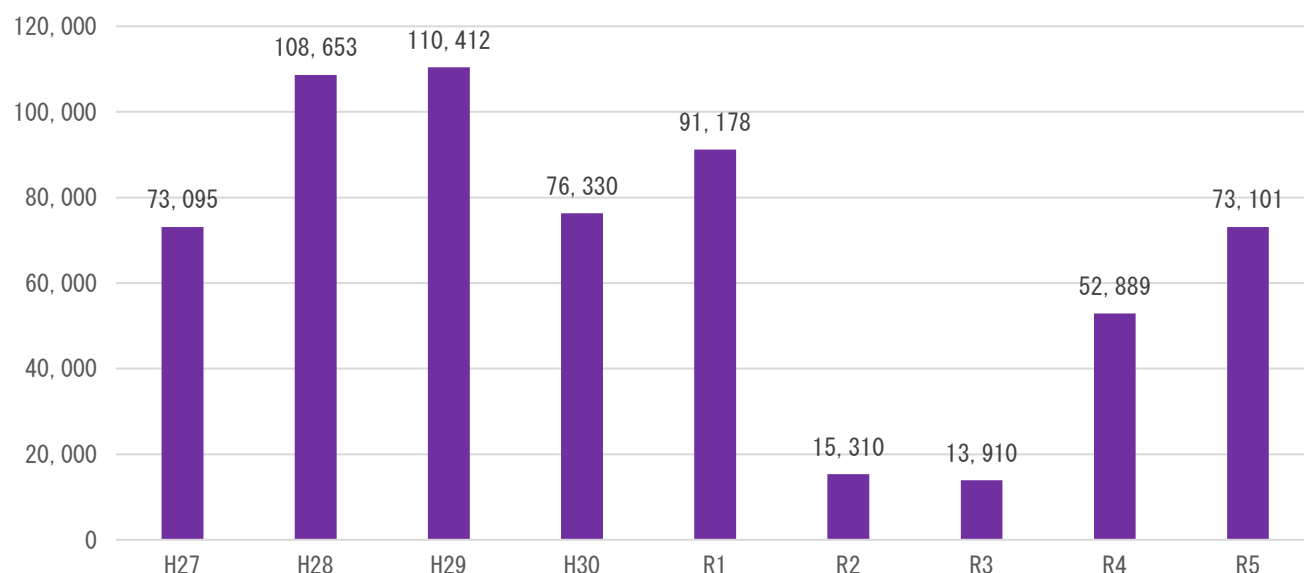
拠点施設	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
岐阜市歴史博物館	57,885	88,488	64,809	62,561	67,984	64,736	61,173	136,516	72,690	67,903
加藤栄三・東一記念美術館	12,669	12,040	11,879	11,783	12,192	11,028	11,907	27,784	13,994	13,539
岐阜城天守閣	175,785	195,304	207,187	196,363	195,445	210,939	198,229	218,176	217,277	233,691
岐阜市長良川鶴飼伝承館	平成24年8月1日開館								46,884	47,944
計	246,369	295,832	283,875	270,707	275,621	286,703	271,309	382,476	350,845	363,077

拠点施設	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
岐阜市歴史博物館	61,836	59,438	63,646	110,410	59,203	94,794	101,147	31,711	44,209	52,178
加藤栄三・東一記念美術館	13,749	11,554	9,326	9,860	7,706	8,866	4,655	5,706	5,777	5,704
岐阜城天守閣	240,655	243,098	248,081	266,716	234,933	251,485	157,560	143,378	252,395	287,556
岐阜市長良川鶴飼伝承館	60,132	45,235	46,953	45,541	44,337	40,981	16,535	17,582	35,426	38,611
計	376,372	359,325	368,006	432,527	346,179	396,126	279,897	198,377	337,807	384,049

※ GASA stella は令和7年3月オープンであるため、観覧者数は未計測

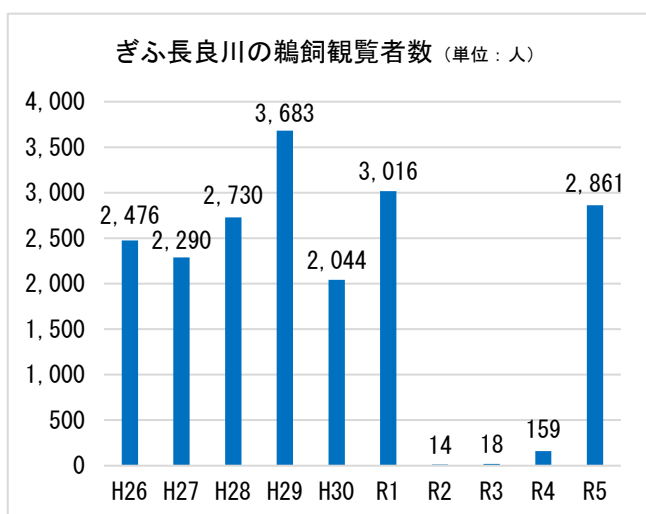
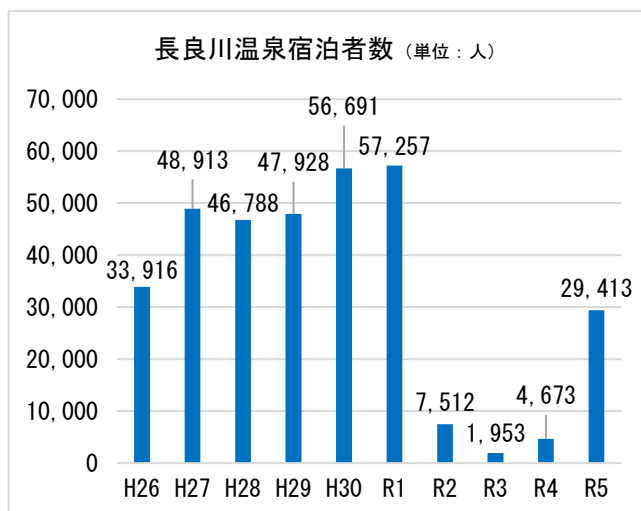
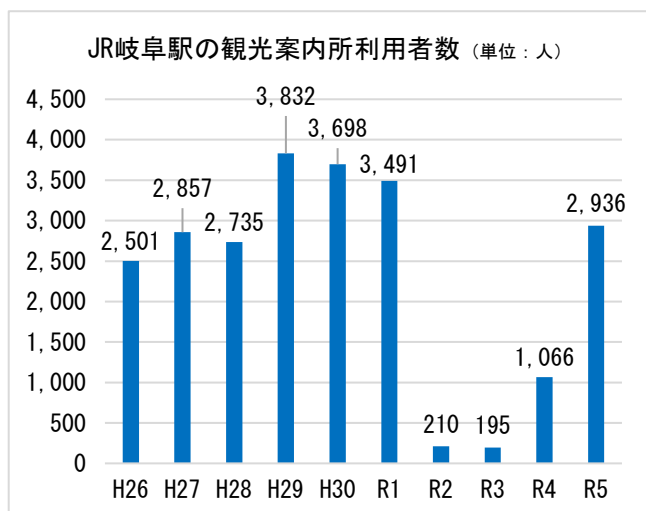
単位：人

<ぎふ・長良川の鶴飼観覧者数（有料）の推移（単位：人）> （出典）岐阜市観光統計



<外国人に関する統計>

【外国人来訪者数の推移】 (出典) 岐阜市観光統計、各拠点施設からのデータ収集



拠点施設来訪者数 (単位：人)

拠点施設	R4	R5	R6
岐阜城天守閣	5,856	19,046	28,632
岐阜市長良川鵜飼伝承館	107	605	1,016

岐阜観光コンベンション協会の所感では、明確な理由は定かでないものの、コロナ禍以前と比べて欧米の外国人観光客が増えてきている傾向が見受けられる。

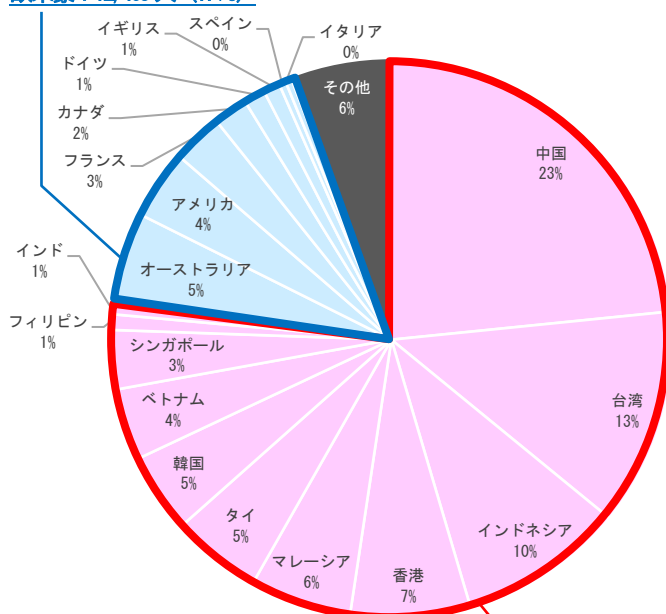
一方、アジア圏の外国人観光客も増加しつつあるが、完全には回復していない。

【外国人宿泊者の内訳 (単位：人)】 (出典) 岐阜市宿泊統計

対象期間：令和6年1～12月 対象施設：16施設 (長良川温泉7施設、岐阜ホテル会10施設)

地域名・国名		宿泊者数
アジア圏	中国	17,064
	台湾	9,133
	インドネシア	6,931
	香港	5,073
	マレーシア	4,270
	タイ	3,800
	韓国	3,329
	ベトナム	3,018
	シンガポール	2,486
	フィリピン	651
	インド	459
欧米豪	オーストラリア	3,852
	アメリカ	2,902
	フランス	2,129
	カナダ	1,439
	ドイツ	896
	イギリス	696
	スペイン	287
	イタリア	264
その他		4,252
合計		72,931

欧米豪：12,465人 (17%)



アジア圏：56,214人 (77%)

＜来訪手段及び滞在期間並びに観光目的での来訪回数＞ （出典） 岐阜市日本遺産戦略検討マーケティング調査

本市への来訪手段は、自家用車 63.3%、電車 31.8%と、自家用車比率が高い。また、岐阜市での滞在期間は、日帰り 34.6%、1泊2日 54.6%と、日帰りもしくは1泊2日が高い割合を占める。

岐阜城天守閣の来訪者は、過去 10 年で最多だが、宿泊客はコロナ前に戻っておらず、拠点施設の魅力向上等により滞在時間を延ばす工夫が求められる。なお、観光目的での岐阜市への来訪回数は、4 回以上 35.9%、初めて 33.4%と、いわゆるリピーターが最も高い比率を占めており、初めての人に対して岐阜市の多様な魅力を伝えるとともに、リピーターに対しては繰り返し訪れても満足できるようなコンテンツの充実が求められている。

＜地域 DMO が設定したターゲット層＞

岐阜観光コンベンション協会は、観光地域づくり法人形成・確立計画の中で、観光誘客に向けた 4 つのターゲット層を設定しており、日本遺産を通じた地域活性化計画が設定したターゲット層も地域 DMO と連動している。本計画では、文化観光の視点に基づき、ターゲット層をさらに絞り込んでいく。

本物志向で岐阜に興味を持つ首都圏の観光客

岐阜市は、岐阜県、愛知県、三重県の東海地区からの来訪者が最も多く、次いで東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の首都圏からの来訪者が多いことから、首都圏からの来訪者をさらに増加させることで、本市への来訪者増を図る。

本市の、日本遺産に認定されている「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜」の構成要素でもある岐阜城や織田信長公の居館があったとされる岐阜公園、さらには、清流・長良川に育まれた岐阜市の伝統文化（ぎふ長良川の鵜飼、岐阜大仏など）や伝統工芸（提灯、和傘など美濃和紙を使用した工芸）は、首都圏の知的好奇心の旺盛なハイエンドユーザーが求める“本物志向”に対し訴求することができる。また、岐阜県が「日本の源流に出会える旅」をコンセプトにしたサステナブル・ツーリズムに、近隣自治体である関市や美濃市の伝統工芸（関刀物や美濃和紙）を取り上げ、高山市や白川郷に加えて岐阜県内でさらにもう 1 泊を推奨する事案に連携し、岐阜市の伝統文化の本物志向への訴求を図り、併せて岐阜市での宿泊を推奨する事ができることから、ターゲットとして設定した。

日本の歴史・文化が大好きな訪日外国人観光客

コロナ禍の収束と共に、岐阜市へ訪れる訪日外国人観光客も戻りつつあるが、コロナ前の状況には完全には戻っていない。東アジアや東南アジアをはじめ、欧米豪地域でも日本の戦国武将が人気を博しており、戦国武将三英傑の一人であり、岐阜市と縁の深い武将の代表格でもある織田信長公をはじめとする武将をフックとし、岐阜県が推奨する訪日外国人市場向け武将観光と連携して誘客が見込める。また、「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜」が日本遺産・第 1 号に認定されており、その構成要素でもある岐阜城や岐阜公園に加え、1,300 年以上の歴史を有し、織田信長公や徳川家康などの時の権力者に保護された「ぎふ長良川の鵜飼」は岐阜市の代表的な観光資源であり、漆黒の闇の中、煌々と燃える篝火を川面に映して川を下りながら、伝統装束に身を包んだ鵜匠と鵜が一体となって鮎を追う様子は、まさに歴史・文化が好きな外国人観光客に訴求するには絶好のコンテンツである。また、JR 岐阜駅及び名鉄岐阜駅前地域に位置する玉宮（タマミヤ）地区には 400 軒を超える居酒屋等の飲食店が集積しており、外国人観光客に対して気軽に日本の「居酒屋文化」を体験してもらえる強力なコンテンツであることから、ターゲットとして設定した。

名古屋都市圏を中心としたアクティブな若年層

各種調査の結果から、岐阜市への来訪者は 50 歳代以降の方が多く状況であり、JR 東海道線の新快速を利用して約 20 分で往来可能な東海地域唯一の大都市圏である名古屋圏に居住するアクティブに行動する若年層に対する取組が必要である。

岐阜市では、昼間帯の清流・長良川地域の自然文化をフックとし、ハイキング、サイクリング、登山などの体験で楽しんでもらえ、また、夜には、金華山山頂にそびえる「岐阜城」からの夜景や日本夜景遺産にも認定されている「ぎふ長良川の鵜飼」を楽しんだ後、居酒屋文化が集積する岐阜駅前地区での夜の岐阜市を楽しんで頂けることから、ターゲットとして設定した。

MICE に参加して岐阜市を訪れる団体

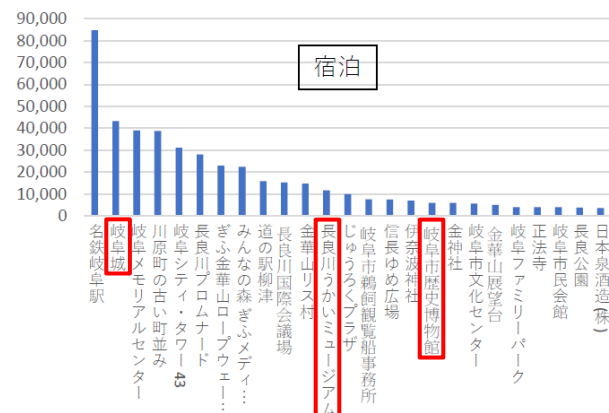
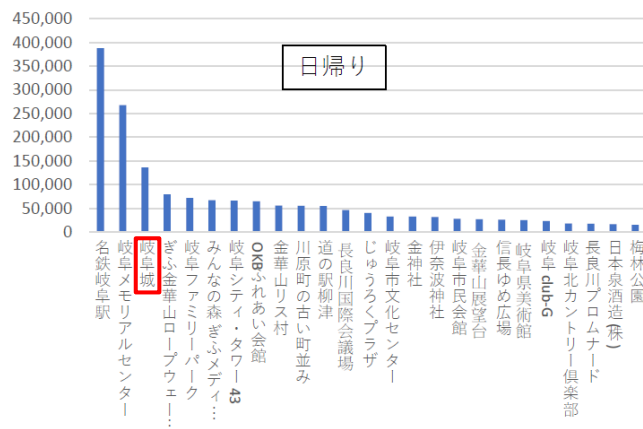
岐阜市は、国が提唱する国際コンベンション・シティ構想に基づき、昭和 63 年 4 月に、当時の運輸省（現・国土交通省）より国際コンベンション・シティの指定を受けている。現在、「国際会議観光都市」として、国内の学術会議や各種国際会議及びイベントが開催できる複数の施設を所持しており、岐阜県の国際観光 MICE の玄関としての役割を果たしている。MICE 参加者は、一般的な観光客に比べ、比較的滞在時間が長いと言われており、宿泊、飲食、観光等による大きな経済波及効果を生み出すことから、ターゲットとして設定した。

<地域DMOによるマーケティング調査>

(出典) 未来の岐阜ツーリズム会議・国内誘客部会資料 (岐阜観光コンベンション協会提供)

【来訪スポット (おでかけウォッチャー)】

日帰りと宿泊とで若干行先の傾向が異なるが、共通して岐阜城周辺への来訪者が多いことが分かる。また、宿泊客のように滞在時間が長くなると、拠点施設に足を運ぶ観光客が多くなる傾向が見受けられる。



【岐阜城前後の訪問先 (おでかけウォッチャー)】

岐阜市歴史博物館・岐阜城天守閣・岐阜市長良川鶴飼伝承館の周遊は一部見られるものの、その割合は限られている。その中でも、岐阜城天守閣の後に岐阜市歴史博物館へ訪れる観光客が多い。一方、市外に目を向けると犬山城や大垣城への訪問者が多く、城巡りのニーズがあることがうかがえる。

(前)	ぎふ金華山ロープウェイ山麓駅	85,241
	金華山リス村	11,624
	金華山展望台	6,643
	名古屋駅	5,750
	犬山城下町	3,730
	川原町の古い町並み	3,313
	岐阜市歴史博物館	2,521
	大垣公園一帯 (大垣城・郷土館等含)	1,896
	名鉄岐阜駅	1,648
	伊奈波神社 旧跡	1,618



(後)	金華山リス村	59,248
	ぎふ金華山ロープウェイ山麓駅	33,342
	金華山展望台	22,804
	川原町の古い町並み	10,875
	岐阜市歴史博物館	6,849
	名古屋駅	6,053
	正法寺	4,567
	名鉄岐阜駅	3,529
	犬山城下町	3,164
	長良川うかいミュージアム	2,480

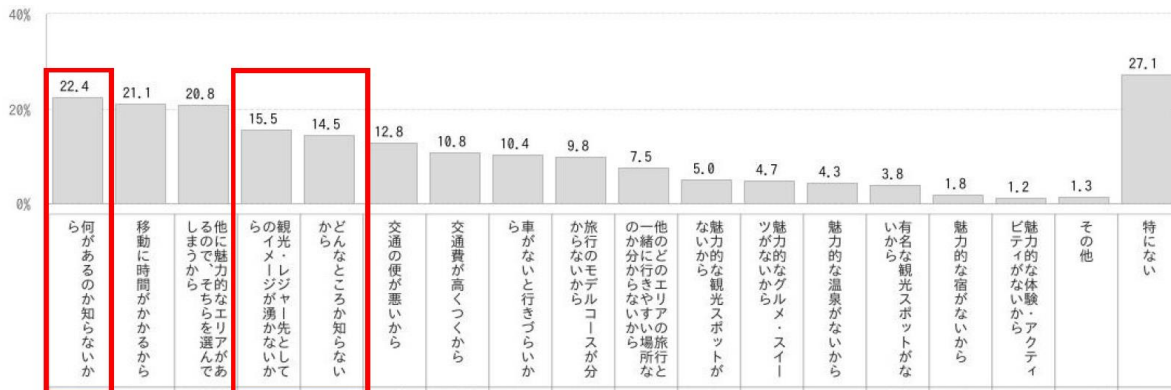
【岐阜市の来訪目的 (観光展等でのアンケート調査の結果)】

グルメなどを主な来訪目的として回答。「歴史・文化を楽しむまち歩き」や「武将観光」「祭りや伝統行事」「伝統産業や伝統工芸」といった回答も多く見られ、本市においても文化観光のニーズが高まってきていることがうかがえる。

	川島	金山観光展	大阪お城フェス	ツーリズムEXPO	大関ケ原祭	せんちゅうパル	お城EXPO	金山観光展	トラベルランド	計
温泉旅館・ホテル滞在旅行	1	42	158	256	111	20	145	4	28	765
食事を満喫するグルメ旅行	1	35	127	205	101	17	120	5	29	640
1地域で数日間過ごす長期滞在型の旅行	0	19	14	41	20	1	30	0	5	130
滞在地の歴史・文化を楽しむまち歩き旅行	2	35	174	129	112	7	163	2	16	640
地域の農産物の直産市場を巡る買物旅行	1	14	17	37	30	3	17	1	9	129
各地の自然や動植物を鑑賞する観光	0	17	27	61	31	2	23	0	11	172
昔の街道を巡る街道旅行	1	11	62	47	42	5	52	3	8	231
武将たちの戦いの跡や歴史遺産を巡る武将観光	1	20	173	52	117	5	134	3	14	519
健康、癒しや美容を目的とする旅行	0	11	12	20	7	4	7	0	4	65
ハイキングや登山を目的とした旅行			16	31	17	4	18	1	4	91
祭りや伝統行事などを目的とした旅行	2	22	27	33	33	4	17	2	14	154
地域の伝統産業や伝統工芸などを体験できる旅行	0	16	17	29	20	1	11	1	4	99
現代アートや芸術祭、美術館を巡るアート旅行	1	17	18	22	18	2	6	1	4	89
写真撮影を目的とした旅行	0	17	54	62	42	13	33	3	21	245
サイクリングを目的とした旅行	0	3	11	9	4	3	10	1	2	43
スポーツの体験・観戦に周辺地域を観光する			12	20	7	2	5	0	3	49
スポーツツーリズム										
農業・漁業が盛んな地域において、その土地に暮らす人々との交流を目的とした旅行			4	3	6	1	3	0	2	19
計	10	279	923	1057	718	94	794	27	178	4,080

【岐阜市への非来訪理由（GAP 調査の結果）】

「何があるのか知らないから」「観光・レジャー先としてのイメージが湧かないから」「どんなところか知らないから」といった理由が多く、観光に関わる情報発信が弱いことが分かる。



【岐阜市の観光でイメージするもの（観光展等でのアンケート調査の結果）】

岐阜城・鵜飼のイメージが観光客にも定着していることが分かり、文化観光の中核を担う文化資源であることを裏付けている。一方、後述の SWOT 分析でナイトタイムエコノミーの集積を本市の強みとしているにも関わらず、イメージがあまり定着しておらず、周知不足であることが分かる。

	川島	金山観光展	大阪お城フェス	ツーリズムEXPO	大関ケ原祭	せんちゅうパル	お城EXPO	金山観光展	トラベルランド	計
ぎふ長良川の鵜飼	1	51	147	200	140	21	121	2	48	731
金華山	1	49	174	117	188	8	157	9	37	740
ぎふ金華山ロープウェー	0	36	108	71	107	4	107	4	27	464
岐阜城	2	48	277	171	200	17	237	5	37	994
岐阜城と月	0	8	86	37	81	5	92	2	10	321
夜景・ナイトビュー	0	3	24	27	27	2	26	0	4	113
長良川	0	15	96	140	69	15	102	2	25	464
長良川温泉	1	8	36	52	23	7	27	0	13	167
川原町の古い町並み	0	9	12	10	31	3	15	0	4	84
岐阜大仏	0	7	31	12	38	0	20	1	5	114
柳ヶ瀬商店街	0	20	9	25	38	0	14	5	14	125
玉宮町界隈	0	1	1	4	11	0	0	0	0	17
ぎふメディアコスモス	0	3	1	5	20	0	3	1	2	35
長良川河畔の花火大会	0	20	6	12	35	1	10	0	4	88
特に思い浮かばない	0	1	6	13	2	0	8	1	5	36
計	5	279	1,014	896	1,010	83	939	32	235	4,493

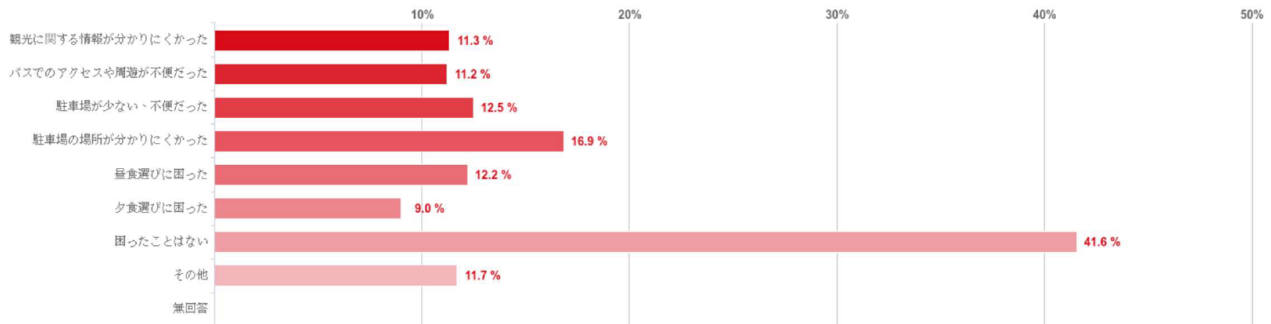
【観光情報の入手元（観光展等でのアンケート調査の結果）】

インターネットを活用した情報収集が主流。SNS は、Instagram や X が伸びているのに対し、Facebook はあまり利用されていないことが分かる。

	川島	金山観光展	大阪お城フェス	ツーリズムEXPO	大関ケ原祭	せんちゅうパル	お城EXPO	金山観光展	トラベルランド	計
友人・知人・家族からの口コミ	1	19	113	141	90	8	104	1	17	494
Facebook	0	3	20	13	14	2	21	1	7	81
Instagram	0	8	73	98	50	13	51	3	20	316
X	0	8	88	87	68	7	93	2	29	382
YouTube	0	12	31	67	24	4	35	2	9	184
Tik Tok			3	9	8	0	8	0	1	29
ブログ	0	2	12	24	6	7	23	0	2	76
ネットニュース、情報アプリ	0	9	91	82	61	9	103	3	11	369
観光協会・観光施設などのホームページ	1	18	106	109	73	9	89	4	28	437
旅行会社のホームページ	0	8	20	49	5	4	17	0	6	109
交通広告			20	15	8	2	1	0	4	50
テレビ	1	16	58	54	20	6	35	2	12	204
ラジオ	0	5	1	9	7	4	3	0	3	32
旅行雑誌・ガイドブック	0	12	54	64	17	3	41	0	9	200
新聞	0	15	12	9	17	2	5	2	4	66
観光展・旅行博	0	13	40	43	13	5	23	3	18	158
観光案内所	1	20	38	26	29	2	22	2	12	152
計	4	168	780	899	510	87	674	25	192	3,339

【岐阜市への旅行での不満や困りごと（日本遺産観光アンケートの結果）】

二次交通や駐車場に関する不満や困りごとが多い。JR岐阜駅または名鉄岐阜駅から拠点施設が集中する金華山・長良川周辺エリア一帯まで距離があることを踏まえると、二次交通の整備は喫緊の課題と言える。



【自由記述 全154件中16件が二次交通に関する回答】

- ◇車以外の移動手段 ◇駐車場が遠い、有料 ◇ツナグテ、ウゴクテの駐車料金が高すぎる ◇時間帯にバスがなかった
- ◇車の渋滞 ◇バスの中に路線図か料金表が欲しいと思った。自分の目的地がいつなのか、乗ったバスが間違っていないか不安になった
- ◇大垣はレンタサイクルがあるけど自転車停めるところがなく不便 ◇お店に駐輪スタンドが少ない
- ◇オートバイの駐車場が分かりにくい ◇特に、岐阜城周辺の駐車場、道路事情が分かりづらい
- ◇シェアチャリのステーションを増やしてほしい。自動運転バスの便数を増やしてほしい。夜にお酒を飲んだ人が自動運転バスで帰れたら最高
- ◇やや渋滞 ◇車がほしいときがあるが、運転できる人が今回のメンバーにいなかった。 ◇レンタサイクルが使いにくい
- ◇車が混雑して以外に時間がかかった ◇無料の駐車場がないので、気軽に観光がしにくい

4-1-3. 他の地域との比較

＜城郭を文化資源とする地域との比較＞ （出典）各市のホームページに掲載されている統計情報

- ・地域性のバランスを考慮しつつ、いずれも城郭や城下町を主たる文化資源として活用している点が本市と共通している愛知県犬山市、滋賀県彦根市、神奈川県小田原市を比較対象とした。
- ・令和4年度の城郭への来訪者数で比較した場合、岐阜城が252,395人であるのに対し、犬山城が496,176人、彦根城が578,674人、小田原城が524,201人と約2倍以上の集客がある。このことから、城郭を中心とした集客は人気が高く、本市においても一層の集客を見込める文化資源であると言える。各市の先進的な取組を分析し、本市においても積極的に取り入れていく必要がある。
- ・一方、過去15年で急激に来訪者数が伸びてきた犬山市に代表されるように、人気の高い観光地ではオーバーツーリズムの課題を抱えている。今後はオーバーツーリズムへの対策も含めて集客を求めていく必要がある。
- ・公共交通機関を利用した場合の交通アクセスを比較すると、いずれも城郭から最寄り駅まで徒歩10～20分で城郭にたどり着くことができる。岐阜城天守閣はJR岐阜駅または名鉄岐阜駅から岐阜公園まで徒歩50分の距離に位置していることに加え、比高が300m近くある金華山山頂に位置することから、特に二次交通の必要性が高い。
- ・自家用車を利用した場合の交通アクセスを比較すると、いずれも最寄りの駐車場から10分以内で城郭にたどり着くことができる。岐阜城においては、自家用車で来訪者が最も多いにも関わらず駐車場の確保が長年の課題であったが、令和7年4月オープン of 観光商業施設「岐阜城楽市」に駐車場（50台）が整備され、一定の改善が見られる。一方で、駐車場から拠点施設への道程がわかりづらく、迷うことなくたどり着くことができるよう環境を整える必要がある。

○犬山市

【地域の概要】

人口	約71,000人	
主な文化資源	犬山城天守（国宝）、犬山城跡（史跡）、木曾川（名勝）、犬山祭の車山行事（無形民俗文化財）、犬山祭の山車（十三台）（県有形民俗文化財）、木曾川犬山鵜飼漁法（市無形民俗文化財）	
主な文化資源保存活用施設	犬山城、犬山市文化史料館（城とまちミュージアム・IMASEN 犬山からくりミュージアム）、どんでん館	
城郭までの交通アクセス	公共交通機関	名鉄犬山駅から徒歩20分
	自家用車	犬山城第1駐車場（140台）から徒歩5分、犬山城第2駐車場（123台）から徒歩8分

【観覧者数合計の推移】

施設等	H30	R1	R2	R3	R4
犬山城	620,116	540,458	255,429	298,707	496,176
犬山市文化史料館	113,988	88,443	28,866	33,646	53,545
どんでん館	64,032	52,343	19,057	24,806	42,849
木曾川うかい	21,225	19,376	3,079	3,631	13,750
計	819,361	700,620	306,431	360,790	606,320

○彦根市

【地域の概要】

人口	約110,000人	
主な文化資源	彦根城天守、附櫓及び多聞櫓（国宝）、紙本金地著色風俗図（彦根屏風）（国宝）、彦根藩井伊家文書（重要文化財）、彦根城跡（特別史跡）、玄宮楽々園（名勝）	
主な文化資源保存活用施設	彦根城・玄宮園、彦根城博物館	
城郭までの交通アクセス	公共交通機関	JR彦根駅から徒歩15分
	自家用車	二の丸駐車場（40台）から徒歩9分、桜場駐車場（70台）から徒歩13分

【観覧者数合計の推移】

施設等	H30	R1	R2	R3	R4
彦根城・玄宮園	722,916	733,489	350,968	359,682	578,674
彦根城博物館	125,128	119,072	67,462	62,016	99,267
計	848,044	852,561	418,430	421,698	677,941

○神奈川県小田原市（小田原城）

【地域の概要】

人口	約 185,000 人	
主な文化資源	小田原城跡（史跡）、石垣山（史跡）、二宮尊徳関係資料（県重要文化財）、小田原城絵図（市重要文化財）、小田原城天守閣模型（県重要文化財）	
主な文化資源保存活用施設	小田原城、小田原城NINJA 館（歴史見聞館）、常盤木門SAMURAI 館、小田原市郷土文化館、松永記念館、尊徳記念館	
城郭までの交通アクセス	公共交通機関	JR 小田原駅から徒歩 10 分
	自家用車	JR 小田原駅周辺の駐車場から徒歩 3～10 分

【観覧者数合計の推移】

施設等	H30	R1	R2	R3	R4
小田原城	603,318	580,019	213,281	374,506	524,201
小田原城NINJA 館（歴史見聞館）	36,073	118,938	9,607	68,470	96,079
常盤木門SAMURAI 館	139,907	127,347	59,445	107,084	145,934
小田原市郷土文化館	46,094	38,694	12,843	21,742	22,997
松永記念館	22,342	18,304	1,408	11,583	14,266
尊徳記念館	9,259	9,618	2,972	4,817	7,185
計	856,993	892,920	299,556	588,202	810,662

<岐阜市の SWOT 分析>

岐阜観光コンベンション協会は、観光地域づくり法人形成・確立計画の中で、観光誘客に向けた本市の強みと弱みを下表の通り分析している。

内部環境に起因する強みとして、主要な宿泊エリアを形成する長良川温泉が、文化資源が集中する本計画の重点区域内にあり、双方が近接していることが挙げられる。一方で、駅からの二次交通整備や周遊に向けた環境整備、データに基づく戦略的な広報不足による認知度不足、インバウンドへの対応の遅れ等が課題であることが見て取れる。

外部環境に起因する強みとしては、飛騨高山や白川郷といった集客力の高い観光地へのルート上に本市が位置していることが挙げられるが、本市の宿泊地としての認知度が低く、素通りされてしまうことが課題となっている。

また、本市への主要な交通インフラを担う名古屋鉄道株式会社は、グループの中長期経営戦略における重点テーマのひとつとして「魅力ある地域づくり・まちづくり」を掲げており、沿線拠点駅での複合開発によるまちづくりに力を入れている。中でも、名鉄岐阜駅は、中部国際空港（セントレア）とも直通で繋がり、名古屋から岐阜方面に向かう終着駅として重要視されており、岐阜城・鶴飼という個性的な魅力を持つ文化資源を活かした文化観光の推進に取り組むことで、観光誘客の相乗効果をねらう好機にあると言える。

本計画でもこの分析を念頭に取組の方向性を検討する。

	好影響	悪影響
内部環境	強み (Strengths) ■ 豊富な歴史・文化・自然資源 ・清流長良川に育まれた1,000年以上の歴史ある伝統文化（和紙、鶴飼、加工品など） ・洗練された文化を体験できるアクティビティ（鶴飼観覧船など） ・景観が美しい歴史文化資源（岐阜城など）と自然資源（金華山、清流長良川など）が長良川エリアに凝縮 ■ ナイトタイムエコノミーの集積（玉宮、柳ヶ瀬、鶴飼、灯り物語、ロープウェイ夜間運行、花火等）と県内3位の宿泊施設の集積 ■ 80万泊の宿泊客+数百万人の日帰り客を受け入れており、十分な集客力がある ■ 岐阜公園の再整備が進んでいる ■ ぎふ長良川の鶴飼の鶴匠は日本で唯一「宮内庁式部職」	弱み (Weaknesses) ■ 集客力があってもターゲットが定まらない ・富裕層向けのコンテンツ開発や受入体制が出来ていない ・インバウンド誘客への投資の遅れ ■ オフシーズン（夏季以外）の観光消費単価が上がらない ■ 観光情報発信が弱い ■ 観光のコアデータが取れておらず、それに基づいた戦略が立てられていない ■ 観光資源は多いが動線整備されておらず回遊しにくい（二次交通やサイン看板等） ■ 観光資源の集積地である長良川温泉・岐阜城下町が駅から離れており、飲食店が少ない（深夜、昼食） ■ 岐阜特有の土産品がなく、販売拠点が弱い ■ バリアフリー、ユニバーサルデザインに対応した施設が少ない
外部環境	機会 (Opportunity) ■ 名古屋からのアクセスがよく名古屋圏からの集客やゴールデンルートからの立ち寄りが見込める ■ セントレアから直通で来ることができる ■ 岐阜県が戦国観光を推進している ■ 名鉄が岐阜を最重点地域に位置づけ ■ 東海環状自動車道の全通	脅威 (Threat) ■ 飛騨高山や白川郷の吸引力が強く素通りされてしまう ■ 観光客が「岐阜」という言葉で認識しているエリアが岐阜市ではなく、岐阜県全域であるため、相対的に情報発信量が多い飛騨地方にディステーションブランドを取られている

従来博物館は、市民が地域の歴史・文化について学習し、理解を深めるための社会教育施設として重要な役割を果たしてきた。本市でも、特に岐阜市歴史博物館や岐阜市長良川鵜飼伝承館では、学校団体等の学びの場として大きく貢献してきた実績がある。一方、令和4年の博物館法改正を受け、文化観光の拠点として、博物館の役割はますます多様化・高度化している。しかし、本市では新たな機能として求められている文化観光の視点に基づく博物館運営が十分ではなく、これからの時代にふさわしい博物館のあり方を見据え、舵を切っていく必要がある。

また、本市ではこれまでも集客の基幹となる岐阜城と鵜飼の磨き上げに取り組んできたが、その多様な魅力を伝えるコンテンツが不足しており、文化資源として岐阜城や鵜飼の歴史・文化をより深く知りたい観光客のニーズに十分に答えられていない。特に、年間約7か月にも及ぶ鵜飼のオフシーズン対策が急務である。

さらに、国内のインバウンドに目を向けると、令和6年の1年間で過去最高を記録し、本市を訪れる外国人観光客もコロナ禍前に戻りつつあるが、他地域と比べるとその誘客はいまだ十分とは言えず、受入環境にも課題が残る。

重点区域の中心に位置する岐阜公園の再整備が進むとともに、日本遺産「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜」が国の重点支援地域に選定され、さらなる事業推進が行われるなか、文化観光の視点から現状を整理すると、文化観光拠点施設としての機能不足、周遊・滞在の伸び悩み、インバウンドの受入環境が不十分であること、文化資源や拠点施設の認知度不足、以上4点が本市全体の課題である。

<課題1 文化観光拠点施設としての機能不足>

【岐阜市歴史博物館】

県内唯一の公開承認施設として岐阜市及び周辺の各分野にわたる歴史に関わる資料を展示・公開するとともに、社会教育施設として学校教育との連携に注力してきた。また、「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜」が日本遺産に認定されて以降は、織田信長公居館跡のCG再現映像を総合展示室で常時上映するなど、日本遺産の紹介にも積極的に取り組んできたところである。しかしながら、文化観光の拠点として、文化資源を地域活性化へ繋げるための取組はいまだ十分とは言えない。

岐阜公園内に位置し、岐阜城とも近い好立地であるにも関わらず、国内外の観光客を博物館に上手く誘導できていない。また、展示設備等の老朽化・旧式化・陳腐化により来訪者数は減少傾向にあり、回復に向けた実効性のある対策が求められている。特に、戦国時代、岐阜城、城下町、織田信長に関心を持って訪れる観光客のニーズに応える展示・解説の強化が急務である。既存の解説は、通史展示に基づく編年主体の各時代コーナー解説と個別資料解説で構成し、そのデータも文字が主体のため観光客のニーズに合っていない。そのため、観光客のニーズに合わせ、歴史上の位置づけ、価値を明確化しストーリー性をもったビジュアルなテーマ解説、資料解説の作成が課題である。

さらに、令和6年度から取組を進めているデジタルアーカイブを今後いかに活用し、利用者の増加と文化資源への理解促進につなげていくことも重要な課題である。

【加藤栄三・東一記念美術館】

ロープウェー乗り場の目の前といった好立地にも関わらず、情報発信が不十分で、国内外の観光客を上手く誘導できていない。展示室内では一部バリアフリー対策が十分でない箇所もあり、拠点施設としての機能強化が必要である。

また、両画伯の作品には、鵜飼や金華山などの地元に関差した作品も多く、岐阜の文化資源を芸術によって感じるができるものであるが、館内での「鑑賞」を重視し両画伯の経歴と個別に作品名のキャプションを配する簡素なものとなっているため、観光客にとっては作品と地域の文化資源との関連性やその背景の情報が不足している。

【岐阜城天守閣】

市内で最も多くの人々が訪れる拠点施設であるが、来訪者の1割がインバウンドであるにも関わらず、対応する言語は英語のみで、多言語化ができていない。英語の解説も日本語の直訳であるため、外国人の来訪者が何を知らたくて何に魅力を感じるのかまで見据えた内容にはなっていない。

また、施設は建築後約70年が経過しており、建物や電気・機械設備に老朽化が見られる。平成30年度に実施した耐震診断では、耐震性能が不足している階層も判明。展示内容の充実に加え、安全対策と設備更新も喫緊の課題である。

【岐阜市長良川鵜飼伝承館】

岐阜城の来訪者数（年間約30万人）に比べ、岐阜市長良川鵜飼伝承館の来訪者数（約13万人（有料、無料含む））は約4割程度。岐阜市歴史博物館や加藤栄三・東一記念美術館と同様、岐阜城や岐阜公園からの誘客が課題である。

平成24年8月のオープンから12年が経過し、展示内容が陳腐化しつつあるため、見直しが必要である。解説ではビジュアルや映像を重視し、長文の文章を排した解説であるのに対し、鵜飼に特化した拠点施設だけに、来訪者の知的欲求を満たすより興味深く奥行きのある内容の解説が課題である。

また、館内の展示に留まらず、長良川沿いの好立地を生かした鵜飼そのものの新たな見せ方を検討する必要がある。

【CASA stella】

令和7年3月にオープンしたばかりの拠点施設であるため、展示品目録やそれに準ずるリーフレット等、施設全体について総覧できる資料が整備されておらず、町の歴史や水運等、伝統工芸の文化的背景を踏まえた解説も十分とは言えない。ユニバーサルな展示への対応やDXへの対応、リピーターを取り込む取組も今後の課題である。

また、周遊の拠点としての機能を果たす上で、展示内容や周辺エリアに関する案内及び解説を行う人材が常駐していないことも大きな課題である。

＜課題2 周遊・滞在の伸び悩み＞

岐阜城・鶯飼は知名度があり、集客力の高い基幹的な文化資源であるが、その観光のみに留まり周辺への波及効果は限定的である。岐阜公園の再整備で大規模な観光商業施設が開設されたが、岐阜公園にのみ観光客が集中し、周遊に繋がらないという懸念もある。また、「つかさのまちエリア」に位置するぎふメディアコスモスは、年間100万人以上が訪れる施設で、県外からも多くの来訪者があるが、ぎふメディアコスモスのみの訪問に留まっている。拠点施設への周遊を促すとともに、来訪者の滞在時間を延ばすための魅力的なコンテンツが不可欠である。

しかしながら、現状では各拠点施設で集客のためのイベントを多く開催しているものの、単体のイベントに留まる例が多く、エリア全体への周遊を促すには至っていない。岐阜城・鶯飼や岐阜公園、ぎふメディアコスモスの集客を、いかに全体の周遊・滞在へと繋げていくかが課題である。

周遊・滞在に繋げるには、「食」の充実が不可欠であることから、本市の遊宴文化を支えてきた食文化の振興に関わる取組とも連携しながら、新たなコンテンツを生み出していく必要がある。

また、対策の一環として、周遊の利便性向上を図るツアーや共通券等の活用があるが、現在運用しているものは対象が限定的であり、十分な集客増には至っていない。

加えて、集客力のある岐阜公園エリアが岐阜駅から離れているため、二次交通の整備や誘導看板の設置等、重点区域内のアクセス向上に向けた環境の向上も必要となっている。

＜課題3 インバウンドの受入環境が不十分＞

本市のインバウンドは増加傾向にあるものの、コロナ禍以前まで回復しておらず、国や県と比較しても割合が低い。

各拠点施設では、多岐にわたる情報の多言語化に取り組んでいるものの、日本語の直訳が多く、文化的背景の異なる外国人観光客のニーズに応えられているとは言い難い。さらに、一部の施設では、外国人向けのサイン表示、ガイダンス内容、館内アナウンス等が十分でないといった課題もみられるほか、Wi-Fi整備やオンライン予約、キャッシュレス化等、国内外のあらゆる観光客がストレス無く施設を利用できる環境も不十分である。

また、地域DMOは「日本の歴史・文化が大好きな訪日外国人観光客」をターゲットとして設定しているが、日本の戦国武将が人気を博しているアジア圏・欧米豪に照準を定めた効果的なプロモーションができていない。

国内のインバウンド需要を取り込むために、受入環境を十分に整備するとともに、効果的なプロモーションを行うことが急務である。

＜課題4 文化資源や拠点施設の認知度不足＞

岐阜県における文化観光の旅先としては、飛騨高山や白川郷のイメージが強く、本市が魅力的な文化資源を数多く有していることについてあまり認知されていない。各拠点施設はもとより、エリア全体で文化観光の旅先としての統一的なイメージ戦略が必要である。

認知度向上のためには、ターゲットを意識したプロモーションが必須であるが、データ分析に基づくターゲットの設定と戦略的なプロモーションをいかに行っていくかが課題となっている。

＜基本的な方向性＞

コンセプト 「岐阜城・鵜飼から広がる岐阜の歴史・文化を巡る」

岐阜城・鵜飼を中心とした岐阜を舞台に、魅力あふれる物語と物語に紐づく自然と人々で育まれた豊かな文化資源を、拠点施設が一体となって発信し、エリア全体の周遊・滞在促進に繋げる。



課題1 文化観光拠点施設としての機能不足	→ 取組強化事項1 文化観光拠点施設の魅力向上
課題2 周遊・滞在の伸び悩み	→ 取組強化事項2 周遊促進の環境整備
課題3 インバウンドの受入環境が不十分	→ 取組強化事項3 滞在コンテンツ造成
課題4 文化資源や拠点施設の認知度不足	→ 取組強化事項4 戦略的プロモーション

課題と取組強化事項 対応関係

拠点施設の機能強化

人口減少・少子高齢化がますます進展し、経済規模も縮小が見込まれる中、観光分野は裾野が広く、地域経済の活性化をもたらす基幹的な産業として期待されている。本市のまちづくりの総合的な方針である「岐阜市未来のまちづくり構想」においても、持続可能な観光まちづくりを主要な施策のひとつとして掲げ、近年はDMOとの連携やインバウンド推進に力を入れているところである。

今後は本市の豊かな文化資源について「理解を深める」ことに一層重点を置き、各拠点施設は、それぞれの役割に応じて解説を補完し合い、文化資源への理解の促進に繋げるとともに、来訪者に深い感動や高い充足感を与えることができるよう、文化観光の推進に向けた機能強化に取り組む。

文化観光の総合的かつ一体的な推進

岐阜城・鵜飼をはじめとする本市に点在する文化資源は、日本遺産やぎふ歴史遺産のストーリーによって繋がり、分かりやすく面としてまとめられてきた。日本遺産「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜は、重点区域の主要な文化資源を網羅し、本市における観光の中核をなしている。今後は、岐阜市歴史博物館をまち歩きの中核として位置付け、日本遺産を主軸とする重点区域内の文化観光を推進する。また、本市の歴史・文化の特徴を踏まえたぎふ歴史遺産にも一層光をあてることで、重点区域から計画区域全体へと文化観光の推進を拡大させていく。

日本遺産やぎふ歴史遺産のストーリーのもと、各拠点施設はもとより、地域DMOや民間事業者との連携を一層強化し、一体的に文化観光の推進に取り組む。

なお、日本遺産の構成文化財の磨き上げに関する取組は、「日本遺産を通じた地域活性化計画」において重点的に実施することとし、本計画では日本遺産やぎふ歴史遺産を活かした解説の充実や周遊・滞りの促進等に資する取組に注力する。

ターゲットの設定

本計画では、地域 DMO が設定したターゲット層の内、「本物志向で岐阜に興味を持つ首都圏の観光客」と「日本の歴史・文化が大好きな訪日外国人観光客」を念頭に、以下のとおり主たるターゲットを設定する。

○岐阜城・鵜飼に興味を持つ首都圏の観光客

本市は東海地区からの来訪者が最も多く、次いで首都圏からの来訪者が多いため、文化観光における国内のターゲットとしては首都圏を特に重視する。

日本遺産の構成文化財である岐阜城・鵜飼に加え、岐阜大仏、伝統工芸等、本市ならではの特色ある文化資源を活用して、首都圏のハイエンドユーザーが求める「本物志向」に訴求する。知的好奇心をくすぐるような解説や体験アクティビティを充実させることで、文化への理解に対する満足度や再訪意欲を高め、リピーターの確保へと繋げる。

○戦国武将を好むアジア圏・欧米豪地域 of 外国人観光客

東アジアや東南アジアをはじめ、欧米豪地域でも日本の戦国武将が人気を博しており、岐阜県が推奨する訪日外国人市場向け武将観光と連携して誘客を見込むことができる。

斎藤道三・織田信長はもとより、岐阜城の歴代城主（斎藤義龍、池田輝政、織田秀信等）や信長の家臣（柴田勝家、佐久間信盛、豊臣秀吉等）などの戦国武将をフックとし、人物の来歴や岐阜との関わり、キャラクター性に焦点を当てた深みのある解説を行うことで、アジア圏や欧米豪の各国から来日した戦国武将を好む外国人観光客に日本の歴史・文化への理解を促す高付加価値旅行の提供を実現する。

<取組強化事項 1：文化観光拠点施設の魅力向上（課題 1・3 関連）>

年数の経過により展示効果の低減が見られる拠点施設について、文化資源への理解促進を念頭に展示室等のリニューアルを行う。それに伴い、国内外の幅広い観覧者（子ども、高齢者、障がい者、外国人等）に対して文化資源の文化的・歴史的背景を適切に分かりやすく伝えるため、展示室内の解説パネルや屋外の説明看板など、あらゆる解説を全面的に見直し、充実を図る。また、観光庁「How To 多言語解説文整備」や文化庁「文化財の多言語化ハンドブック」等をもとに、文化的基盤が異なる外国人にも理解しやすい解説の多言語化を行う。

【岐阜市歴史博物館】

戦国時代、岐阜城、城下町、織田信長を目的とする来訪者のニーズに対応するため、総合展示室の全面改装を行い、戦国時代の展示を強化するとともに、より効果的な展示となるよう、デジタル技術等を活用した展示コンテンツの制作や資料の魅力を最大限に引き出すことのできる展示ケースの整備を進める。加えて、ミュージアムショップの見直しや入館者管理システムの導入など、来訪者の利便性向上にも取り組む。

また、リニューアルにあわせて総合展示室の解説パネルやキャプションの見直しを行うとともに、デジタルアーカイブの活用を進めるなど、多角的な解説機能の強化に取り組む。

【加藤栄三・東一記念美術館】

ユニバーサルデザインに配慮し床の張り替えを実施するなど、あらゆる来訪者が快適に作品を鑑賞することができるための環境整備を行うとともに、ロープウェーを利用する観光客を誘導するための案内の充実を図る。

また、両画伯の作品を通じ、鵜飼に代表される本市の文化資源への理解をより深めることができるよう、解説の充実を図る。

【岐阜城天守閣】

展示の全面リニューアルと建物の改修工事を一体的に行う。山上部見学の拠点として、最上階からの眺望を活かし、戦国の舞台となった岐阜を俯瞰する展示内容にする。

5 つの拠点施設の中で外国人の来訪者が最も多いことから、展示コンテンツの多言語化に特に力を入れる。また、改修工事によって建物の構造が変わり、展示内容も大幅に更新することから、サイン表示やガイダンス内容、館内アナウンス等を一新する。

【岐阜市長良川鵜飼伝承館】

鵜飼のオフシーズン対策については、通年営業の岐阜市長良川鵜飼伝承館においてもこれまでに様々な取組を実施してきたところであるが、本計画では鵜飼そのもののオフシーズンにおける魅力発信に重点を置き、多目的スペースの機能強化を実施。英語を併記した解説パネルの作成や鵜飼の実演を行う移動式水槽の導入を行う。

来訪者が鵜飼に特化してその技術や歴史などを深く理解するための拠り所として、鵜飼に関わる実物資料を豊富に所蔵する岐阜市歴史博物館と連携しながら、来訪者の知的欲求を満たす奥行きのある展示を行う。

【CASA stella】

伝統工芸の文化的背景を踏まえた解説パネルを中心に、全体の解説をウェブサイトとあわせて整備する。多言語解説や音声解説などについては、DX を念頭に整備を進める。また、文化資源の定期的な展示替えや内容の深化等、キュレーション機能も強化する。

あわせて、拠点施設を核に地域の魅力を総合的に伝えるガイド・キュレーター人材の育成やガイドの派遣体制の整備にも並行して取り組む。

＜取組強化事項２：周遊促進の環境整備（課題２関連）＞

重点区域内における徒歩または自転車での周遊を促進するため、来訪者が現地で利用する誘導看板の整備を行う。拠点施設や文化資源の基本的な情報に加えて、体験アクティビティや飲食店・販売施設等の情報を過不足なく記載することで、エリア全体での周遊促進に繋げる。また、バスを利用して拠点施設に移動する来訪者の利便性向上を図るため、バスロケーションシステムを導入し、大勢の観光客が集まる場所に設置する。

各拠点施設においては、周遊のための情報を来訪者に対して分かりやすく的確に提供するため、ホームページの見直し、デジタルサイネージの導入を進め、相互に連携を強化して往来を促す取組を行う。なお、観光商業施設「岐阜城楽市」や、本計画における連携施設「ぎふメディアコスモス」は多くの集客が見込めることから、情報提供やイベントの連携を強化し、賑わいを各拠点施設へと広げる中継地としての機能を高める。

＜取組強化事項３：滞在コンテンツ造成（課題２関連）＞

まち歩き促進に主眼を置き、重点区域内の拠点施設や文化資源を一日かけて巡ることができるような周遊ツアーやモデルコースの造成、共通券の充実、デジタルスタンプラリーの開催等を行うことにより、来訪者の滞在時間の延長を図る。岐阜市歴史博物館では、リニューアルにあわせて博物館の１階に新たに無料ゾーンを設けるとともに、まち歩きのサポートをねらいとする新たな展示コンテンツをエントランスに設置し、エリア全体としてのまち歩きのゲートウェイ機能を強化する。

各拠点施設においては、基幹となるコンテンツを充実させるとともに、新たな楽しみ方の選択肢を増やすことで、エリア全体の魅力向上を図る。岐阜市長良川鵜飼伝承館では交流体験広場での新たな鵜飼観覧モデルの造成を進め、CASA stella では外国人向けの体験コンテンツの造成を進める。

加えて、宿泊者増に繋げるため、ぎふ長良川の鵜飼のさらなる高付加価値化のほか、本市が取り組む「ぎふ灯り物語」、「岐阜城パノラマ夜景」、「長良川夜市」など、ナイトタイムエコノミー創出のための事業との連携を強化する。

なお、食文化に関しては、令和 7 年 5 月から 7 月にかけて、東海地方の発酵文化について理解を深めることのできる様々な体験プログラム「発酵ツーリズム東海」を開催するなど、取組を進めてきたところであるが、検証の上、今後新たな規企画が立ち上がれば本計画への追加も視野に検討を行う。

＜取組強化事項４：戦略的プロモーション（課題３・４関連）＞

国内外の観光客に魅力的な文化観光の旅先として本市が選択されるよう、本計画が設定した主たるターゲットである「岐阜城・鵜飼に興味を持つ首都圏の観光客」と「戦国武将を好むアジア圏・欧米豪地域の外国人観光客」の動向を的確に把握し、エビデンスに基づく戦略的なプロモーションを行う。

岐阜市歴史博物館では、リニューアルにあわせて拠点施設の新たな魅力や見どころを紹介するプロモーション映像の制作やホームページのリニューアルを行う。また、リニューアルを契機に新たにロゴマークを制作するとともに、各民間事業者と連携し、ロゴマークとキャラクターを活用したオリジナルグッズを開発・販売し、認知度向上とイメージアップを図る。

＜関連計画との連携＞

- ・「岐阜市文化財保存活用地域計画」では、文化財の保存・活用（文化の振興）に向け、以下に示す 5 つの基本方針を掲げており、本計画においてもこれらを踏襲。特に、「方針2 価値の共有」で「2-2 展示施設、情報発信施設、説明板の充実を図る」、「方針5 魅力を伝えるための活用」で「5-2 歴史周遊コース、ツアーの造成やまち歩きツールの提供を行う」と記されており、本計画においてこれらを実行する。

方針1 継続的な調査研究

方針2 価値の共有

方針3 適切な保存

方針4 市民と共に育む

方針5 魅力を伝えるための活用

- ・「岐阜市観光ビジョン」では、基本戦略（観光の振興）として、以下に示す 7 つの施策方針を掲げており、本計画においてもこれらを踏襲。特に、「(2) 稼ぐ ～ 魅力の創出による産業への波及」で「② 滞在力強化、回遊促進による消費機会の創出」、「(4) もてなす ～ 受入環境整備、おもてなし」で「③ わかりやすく、利用しやすい受入環境整備」と記されており、本計画においてこれらを実行する。

(1) 創る ～ 岐阜の魅力新発見・再発見

(2) 稼ぐ ～ 魅力の創出による産業への波及

(3) つながる ～ 広域連携、オール岐阜での官民一体となった推進

(4) もてなす ～ 受入環境整備、おもてなし

(5) 育てる ～ 観光人材育成、市民の誇り醸成

(6) 囲む ～ 継続的マーケティングの実施

(7) 伝える ～ 効果的なプロモーション・情報発信

- ・本計画では、両計画を念頭に、拠点施設ごとに好循環を創出する仕組みを構築するとともに、各拠点施設が連携することでエリア全体の好循環に繋げていく。

＜拠点施設ごとに達成する好循環の創出＞

- ・各拠点施設が持つ文化資源の価値や魅力の磨き上げを行うとともに、それぞれの強みを活かしながら、さらなる魅力向上を図る。老朽化・旧式化・陳腐化等により文化資源の魅力を引き出すことができていない拠点施設については、単なる設備更新に留まらず、文化観光の推進を念頭に置いたリニューアルを進めていく。
- ・リニューアル等により魅力が高まった拠点施設を、国内外の多くの人々に見に来てもらうため、観光誘客のための積極的なプロモーションを行い、来訪者数の増加を図る。さらに、各拠点施設では解説の充実や利便性を向上させることで来訪者の満足度を高め、再訪意欲の向上に繋げる。
- ・多くの来訪者が各拠点施設に訪れることで、観覧料による収入増加が見込まれるとともに、イメージ戦略を含めた商品開発を行うことで、ミュージアムショップでの収益も期待できる。
- ・また、ふるさと納税に対応した寄附金制度の目的として、岐阜城や博物館の整備、歴史遺産の継承を新たに加えることで、岐阜市の文化資源に魅力を感じ、各拠点施設を応援したいという意思を持つ者から直接投資を受けることのできる仕組みも構築する。
- ・各拠点施設の収入増加により得られた収益は、拠点施設の機能強化に資するための必要な財源に再投資することで、さらなる拠点施設の魅力向上に繋げ、文化の振興を起点とした、観光の振興、地域の活性化の好循環の創出を達成する。

＜エリア全体で達成する好循環の創出＞

- ・各拠点施設では、随時 DMO と観光誘客の動向や現状の課題を共有し、連携して取組の方向性及び事業の見直しを実施する。
- ・拠点施設同士が連携し、繋がり、来訪者の周遊を促進することで、エリア全体における来訪者の滞在時間延長や往来・消費活動の拡大を図る。岐阜市では宿泊税の導入を予定しており、ナイトタイムエコノミーの創出等による宿泊者数の増加でさらなる税収を確保し、一層の文化観光の振興のための財源に充てる。
- ・来訪者数の増加、滞在時間延長、往来・消費活動の拡大、宿泊者数の増加等により、エリア全体での大きな経済効果が生まれる。得られた収益は、文化観光の総合的かつ一体的な推進に資するための必要な財源に再投資することで、文化の振興を起点とした、観光の振興、地域の活性化の好循環の創出をエリア全体で達成する。

5. 目標

目標①：拠点施設の観覧者数（課題1・4関連、取組強化事項1・4関連）							
（目標値の設定の考え方及び把握方法） ・各拠点施設（有料または無料）の観覧者数の合計を記載 有料施設：岐阜市歴史博物館、加藤栄三・東一記念美術館、岐阜城天守閣、岐阜市長良川鵜飼伝承館（観覧券の売上数で計測） 無料施設：CASA stella（自動カウンターを入口に設置して計測） ・岐阜市歴史博物館は令和7・8年度に総合展示室リニューアルに伴う休館を予定しており、それを配慮した数値に設定 ・岐阜城天守閣は令和8・9年度に展示リニューアル・改修工事に伴う休館を予定しており、それを配慮した数値に設定 ・各拠点施設から観覧者数の実績値を集計して合算							
年度	実績		目標				
	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
目標値（人）	384,049	385,926	431,000	216,000	212,000	542,500	568,000
事業番号1－①： 【岐阜市歴史博物館】リニューアル （第1期・展示コンテンツ制作）			展示コンテンツ制作				
事業番号1－④： 【岐阜市歴史博物館】デジタルアーカイブの活用					館蔵資料デジタル化 （1,000点）	館蔵資料デジタル化 （1,000点）	館蔵資料デジタル化 （1,000点）
事業番号1－⑥： 【岐阜城天守閣】展示リニューアル				展示リニューアル（1年目）	展示リニューアル（2年目）		
事業番号1－⑩： 【CASA stella】長良川のてしごとに関する解説の充実			ウェブサイト整備 団体受入体制の整備 キュレーション研修		展示リニューアル ガイド・キュレーター育成 DX整備に向けた課題洗い出し	人材育成 DX整備	
事業番号4－①： 【岐阜市歴史博物館】公式ホームページのリニューアル				ホームページの公開開始			
事業番号4－②： 【岐阜市歴史博物館】プロモーション映像の制作						プロモーション映像製作 （ショートバージョン、ロングバージョン）	
事業番号5－②： 【岐阜市歴史博物館】リニューアル （第1期・展示環境整備）			展示環境整備				
事業番号5－④： 【岐阜市歴史博物館／加藤栄三・東一記念美術館】資料・作品鑑賞のための環境整備			岐阜市歴史博物館：展示ケースの新規導入及び改修				加藤栄三・東一記念美術館：展示室の床張り替え、展示用バリアケードの導入
事業番号5－⑧： 【岐阜市歴史博物館／加藤栄三・東一記念美術館】デジタルサイネージの設置					デジタルサイネージの設置		

目標②：拠点施設の外国人観覧者数（課題３関連、取組強化事項１・４関連）

（目標値の設定の考え方及び把握方法）

- ・各拠点施設（有料または無料）の外国人観覧者数の合計を記載

有料施設：岐阜市歴史博物館、加藤栄三・東一記念美術館、岐阜城天守閣、岐阜市長良川鵜飼伝承館（目視で計測） 無料施設：CASA stella（目視で計測）

- ・コロナ前の平成30年度の約27,500人（近年の外国人観光客の割合から推計）を基準に、計画開始から10年目となる令和16年度には2倍の55,000人以上を目指す。本計画の最終年度となる令和11年度には50,000人を達成し、その後の5年間で毎年1,000人ずつの増加を見込む。
- ・岐阜市歴史博物館は令和7・8年度に総合展示室リニューアルに伴う休館を予定しており、それを配慮した数値に設定
- ・岐阜城天守閣は令和8・9年度に展示リニューアル・改修工事に伴う休館を予定しており、それを配慮した数値に設定
- ・各拠点施設から観覧者数の実績値を集計して合算

年度	実績		目標				
	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
目標値（人）	19,651	32,211	34,000	14,000	7,000	47,000	50,000
事業番号1－⑤： 【加藤栄三・東一記念美術館】解説パネルの多言語化					解説パネル設置		
事業番号1－⑦： 【岐阜城天守閣】展示コンテンツの多言語化					展示コンテンツ多言語化		
事業番号3－④： 【CASA stella】外国人向けの体験コンテンツ造成			コンテンツ造成 モニターツアーの実施（1回） 体験スタジオ整備 コンテンツの販売		コンテンツ造成 モニターツアーの実施（2回） コンテンツの販売	モニターツアーの実施（2回） コンテンツの販売	
事業番号5－⑦： 【岐阜市歴史博物館】安定的な通信環境の整備			インターネット回線の増設 Wi-Fiの整備				

目標③：拠点施設に対する満足度（NPS）（課題1 関連、取組強化事項1 関連）

（目標値の設定の考え方及び把握方法）

- 令和7年度より、各拠点施設（有料または無料）において、各拠点施設に対するNPSの指標を取り入れた質問項目を追加
 有料施設：岐阜市歴史博物館、加藤栄三・東一記念美術館、岐阜城天守閣、岐阜市長良川鵜飼伝承館（アンケートにより把握）
 無料施設：CASA stella（アンケートにより把握）
 質問項目：「あなたはこの拠点施設をどのくらい友人・家族に勧めたいですか？0～10の点数をつけて答えてください」
 批判者：0～6点と答えた人、サービスに対して不満を持っている
 中立者：7、8点と答えた人、サービスに対して、満足も不満足もしていない
 推奨者：9、10点と答えた人、サービスに対して満足している
- 各拠点施設におけるNPSの平均値を計測。計画期間の最終年度にNPSが25ポイントを達成することを目指す。
 推奨者65％－批判者40％＝25ポイント ※実際の調査では中立の回答も想定されるが、目標値の算定にあたっては、便宜上中立の回答はないものとして試算
- 本市の「日本遺産を通じた地域活性化計画」で設定した目標値をベースとし、拠点施設の魅力向上を念頭に5ポイント高く設定
- 岐阜市歴史博物館は令和7・8年度に総合展示室リニューアルに伴う休館を予定しており、それを配慮した数値に設定
- 岐阜城天守閣は令和8・9年度に展示リニューアル・改修工事に伴う休館を予定しており、それを配慮した数値に設定
- 各拠点施設からNPSの実績値を集計して平均

年度	実績		目標				
	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
目標値（ポイント）	未計測	未計測	10	10	15	20	25
事業番号1－②： 【岐阜市歴史博物館】リニューアル （第2期・解説機能強化）				解説機能強化			
事業番号1－③： 【岐阜市歴史博物館】総合展示室での 解説映像・体験メニュー充実					映像制作（1年目） 体験メニュー追加（1年目）	映像制作（2年目） 体験メニュー追加（2年目）	映像制作（3年目） 体験メニュー追加（3年目）
事業番号2－③： 【岐阜市歴史博物館】入館者管理シス テムの導入					入館者管理システムの構築		
事業番号3－②： 【岐阜市歴史博物館】オリジナルグッ ズの開発			ロゴマーク・キャラクター制作	商品開発（1年目）	商品開発（2年目）	商品開発（3年目）	
事業番号5－③： 【岐阜市歴史博物館】リニューアル （第2期・展示環境整備）				展示環境整備			
事業番号5－⑤： 【岐阜市歴史博物館】自動発券機・入 退場管理ゲートの設置					自動発券機設置（自立型2基） 入退場管理ゲート設置（計4 基）		
事業番号5－⑥： 【岐阜市歴史博物館】1階無料ゾーン の利便性向上						受付及びミュージアムショップ の改修	コインロッカーの整備

目標④：ぎふ長良川の鵜飼に対する満足度（課題2関連、取組強化事項3関連）							
（目標値の設定の考え方及び把握方法） ・ぎふ長良川の鵜飼を観覧した乗客に対するアンケートで、「満足」と回答した人の割合を記載 ・令和6年度に観覧船の予約システムを導入したことに伴いアンケートの取り方を見直しているため、令和6年度の結果をベースに目標値を設定 ・観覧船の予約者にアンケートフォームのリンクをメールにて送付し、オンラインで回答 ・鵜飼シーズン終了後、鵜飼観覧船事務所からアンケート結果を確認							
年度	実績		目標				
	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
目標値（%）	74	69	70	70	76	76	78
事業番号1－⑧： 【岐阜市長良川鵜飼伝承館】多目的スペースの機能強化					鵜飼の実演の充実 新たな解説パネルの設置		
事業番号1－⑨： 【岐阜市長良川鵜飼伝承館／岐阜市歴史博物館】両館連携による鵜飼関連資料展示の充実							鵜飼関連資料の展示（解説パネル、キャプション作成）
事業番号3－③： 【岐阜市長良川鵜飼伝承館】交流体験広場を活用したコンテンツ造成					新たな鵜飼観覧モデル造成		
事業番号5－⑨： 【岐阜市長良川鵜飼伝承館】鵜飼の実演を行う移動式水槽の導入					移動式水槽の導入		
事業番号5－⑩： 【岐阜市長良川鵜飼伝承館】栈敷の設置					栈敷の設置		

目標⑤：観光客一人当たりの観光消費額（課題２関連、取組強化事項２関連）							
（目標値の設定の考え方及び把握方法） ・岐阜観光コンベンション協会によるマーケティング調査で収集している観光客一人当たりの観光消費額の平均値を指標とする。 質問項目：「今回の岐阜市滞在中の一人当たりの実際に使った額（消費額）を教えてください。これからの予定も含めます。」 ・客単価の向上を目指し、５年間で１０％の伸び幅を目標値として設定 ・宿泊施設（長良川温泉等）及び観光施設（岐阜城楽市等）に設置したＱＲコードによるマーケティング調査を常時実施して把握							
年度	実績		目標				
	５年度	６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	１１年度
目標値	20,825	20,675	21,000	21,525	22,050	22,575	23,100
事業番号２－①： 【共通】まち歩き誘導看板の整備					まち歩き誘導看板の設置 (75基程度)		
事業番号２－②： 【岐阜市歴史博物館】まち歩き促進のための新たな展示コンテンツ導入				展示コンテンツ（ストーリー模 型・検索端末）の設置			
事業番号３－①： 【共通】滞在促進に向けたパッケージ商品の造成						新たな「岐阜城下町きっぷ」の 販売開始	新たな周遊ツアーの販売開始
事業番号５－①： 【共通】パスロケーションシステムの導入						パスロケーションシステムの設 置（ぎふメディアコスモス）	

6. 目標の達成状況の評価

- ・拠点施設及び推進事業者が主体となり、各施設や各事業で得られたデータ（来訪者数、満足度等）を収集・分析。
- ・拠点施設及び推進事業者から協議会がデータを集約し、地域全体における KPI 数値の推移及びその原因分析を行う。毎年開催される総会にて目標の達成状況の評価を審議する。事業実績と数値の変化の因果関係を再検証し、新たな課題への対応、向かうべき方向性を議論し、必要な修正を行うことにより PDCA サイクルを循環させていく。
- ・市内のステークホルダーで構成する「未来の岐阜ツーリズム会議」（DMO 会議）においても、事業成果や取組の方向性等について情報を共有し、観光に関わる専門的見地から指導・助言を仰ぎ、今後の方針に生かしていく。

7. 中核とする文化観光拠点施設

文化観光拠点施設名	岐阜市歴史博物館（本館）／加藤栄三・東一記念美術館（分館）
主要な文化資源	
【本館】 - 岐阜市及び周辺の各分野にわたる歴史に関わる資料 総集（複製品等）、考古（出土遺物等）、絵画（鶴飼図、合戦図等）、彫刻（仏像等）、工芸（武具等）、文献（文書、絵図、絵葉書等）、生活（祭礼用具、伝統工芸等）、生産・流通（各種製造用具等） - 指定文化財等（所蔵資料） 《国指定・登録（3件）》 岐阜県老洞一号窯跡出土品（考古）、長良川鶴飼用具（有形民俗）、岐阜提灯の製作用具及び製品（登録有形民俗） 《県指定（2件）》 銅経筒（考古）、手漉美濃和紙製造用具（有形民俗） 《市指定（8件）》 豊臣秀吉像（絵画）、史跡岐阜城跡（織田信長居館跡）出土金箔飾り瓦（考古）他 - 指定文化財等（寄託資料） 《国指定（4件）》 太刀 銘景依造（工芸、伊奈波神社蔵）、楽市楽座制札（古文書、円徳寺蔵）、斎藤道三像・斎藤義龍像（絵画、常在寺蔵）、兜率天曼荼羅図（絵画、誓願寺蔵） 《県指定（20件）》 春日版大般若経（典籍、願成寺蔵）、塑造仏頭及び残欠（彫刻、護国之寺蔵）他 《市指定（23件）》 銀箔押烏帽子形兜（工芸、円徳寺蔵）、稲葉城趾之図（絵図、伊奈波神社蔵）他 【分館】 本画、下絵、素描、その他	
 岐阜県老洞一号窯跡出土品  長良川鶴飼用具  岐阜提灯の製作用具及び製品  涼（絵がらみ）（加藤栄三作）  鶴（加藤栄三作）  籠の中の鶴（加藤栄三作）  篝火（加藤栄一作）	
主要な文化資源についての解説・紹介の状況	
現状の取組	
文化資源の魅力に関する情報を適切に活用した解説・紹介（施行規則第1条第1項第1号）	
- 本館 2 階の総合展示室及び特集展示室。定期的に展示替えを行い、ホームページで展示替えした資料を紹介するとともに、ボランティアへの研修を行っている。 - 本館1階の特別展示室。年に数回、3種類の展覧会（特別展、企画展、歴博セレクション）を開催 - 分館の第1展示室及び第2展示室。年に数回、様々なテーマで展覧会を開催	
情報通信技術の活用を考慮した適切な方法を用いた解説・紹介（施行規則第1条第1項第2号）	
- 公式ホームページ。利用案内、展示・イベントの案内、館蔵資料・作品の紹介等の情報を掲載。「楽市立体絵巻」の360度画像や子ども向けの「れきはく展示クイズ」等、オリジナルのコンテンツも掲載 - 公式Facebook。展示替えした資料の紹介や展覧会の情報、イベントの告知等について投稿 - デジタルアーカイブ。現在、内容更新や資料デジタル化の作業中。リニューアルに合わせて公開予定	
外国人観光旅客の来訪の状況に応じて、適切に外国語を用いた解説・紹介（施行規則第1条第1項第3号）	
- 解説パネルの多言語化。英語が基本、一部は中国語（繁体字・簡体字）・韓国語を記載 - キャプションの多言語化。資料名、時代、所蔵者のみ英語を記載 - パンフレット及び公式ホームページの多言語化。英語・中国語（繁体字・簡体字）・韓国語の4種類	
本計画における取組	
文化資源の魅力に関する情報を適切に活用した解説・紹介（施行規則第1条第1項第1号）	
- 総合展示室リニューアル。戦国時代を強化した展示構成により、実物資料やデジタルコンテンツ等を組み合わせた解説を行うとともに、リニューアルに合わせて解説パネルとキャプションの新規作成を行う。 1階のエントランスを新たに無料ゾーンとし、館蔵資料と地域の文化資源を結びつけられるよう、日本遺産等のストーリー模型と検索端末からなる展示コンテンツを設置	

情報通信技術の活用を考慮した適切な方法を用いた解説・紹介（施行規則第1条第1項第2号）

- ・まち歩きをサポートする情報コンテンツをウェブサイト上に構築。博物館のデジタルアーカイブとリンクさせることで、館蔵資料と地域の文化資源を結び、周遊に繋げる。
- ・Wi-Fiの整備。接続が途絶えてしまうエリアが発生しないよう、最適な数のアクセスポイントを設置
- ・公式ホームページのリニューアル。ランディングページで博物館の魅力や見どころが一目で分かるように工夫
- ・デジタルサイネージの設置。ネットワーク配信型のデジタルサイネージを導入し、リアルタイムに情報を更新

外国人観光旅客の来訪の状況に応じて、適切に外国語を用いた解説・紹介（施行規則第1条第1項第3号）

- ・新規作成する解説パネルとキャプションの多言語化。観光庁「How To 多言語解説文整備」や文化庁「文化財の多言語化ハンドブック」等をもとに、日本語の解説から外国人が知りたい内容に書き換えた上、文化資源の文化的・歴史的背景を知るネイティブの外国人に多言語の原稿作成を依頼する。
- ・リニューアルに伴う館内サインやホームページ等の多言語化

施行規則第1条第2項第1号の文化観光推進事業者との連携

現状の取組

文化観光の推進に関する多様な関係者との連携体制の構築

- ・岐阜観光コンベンション協会やORGANと定期的に打ち合わせを行い、観光分野における課題や事業方針について情報を共有。「未来の岐阜ツーリズム会議」等の審議事項にかかる情報を共有し、専門的見地から指導・助言を仰いでいる。
- ・岐阜観光コンベンション協会のホームページ「岐阜市観光ナビ」や各種パンフレットにて、観光スポットとして岐阜市歴史博物館及び加藤栄三・東一記念美術館を紹介

文化観光の推進に関する各種データの収集・整理・分析

- ・岐阜観光コンベンション協会が継続的に収集・整理・分析しているマーケティング情報を共有。岐阜市歴史博物館及び加藤栄三・東一記念美術館が抱える課題を解決するための取組の検討に活用している。

文化観光の推進に関する事業の方針の策定及びKPIの設定・PDCAサイクルの確立

- ・岐阜観光コンベンション協会やORGANと定期的に打ち合わせを行い、事業の方針やKPIの設定・PDCAサイクルについて意見交換を実施

本計画における取組

文化観光の推進に関する多様な関係者との連携体制の構築

- ・岐阜観光コンベンション協会には推進事業者として、ORGANには拠点施設「CASA stella」の設置者として本計画に参加してもらい、引き続き各種課題や実施事業、取組の方向性について定期的に協議を行う。
- ・岐阜観光コンベンション協会及び民間事業者と連携し、周遊を促すためのパッケージ商品を造成
- ・ORGANと連携し、「日本遺産「信長公のおもてなし」体感ツアー」に博物館を組み込んだツアーを構築

文化観光の推進に関する各種データの収集・整理・分析

- ・引き続き、岐阜観光コンベンション協会が収集・整理・分析しているマーケティング情報を共有。データをもとに精度の高い分析を行い、エビデンスに基づく戦略的な事業計画を立案

文化観光の推進に関する事業の方針の策定及びKPIの設定・PDCAサイクルの確立

- ・ぎふ歴史遺産活用推進協議会（構成員：岐阜市、岐阜観光コンベンション協会等）が本計画にて文化観光の推進に関する事業の方針の策定及びKPIの設定・PDCAサイクルの確立を行う。
- ・「未来の岐阜ツーリズム会議」でも情報を共有し、観光に関わる専門的見地から指導・助言を仰ぐ。

施行規則第1条第2項第2号の文化観光推進事業者との連携

現状の取組

文化観光を推進するための交通アクセスの充実や商店街を含めたにぎわいづくりなど、文化観光の推進に関する事業の企画・実施

- ・電車・バス・ロープウェーと岐阜城天守閣への入場がセットになった「岐阜城下町きっぷ」を名古屋鉄道株式会社が販売。岐阜市歴史博物館及び加藤栄三・東一記念美術館の観覧料を割引（大人 310 円→250 円、小人 150 円→90 円）するクーポンを含む。

本計画における取組

文化観光を推進するための交通アクセスの充実や商店街を含めたにぎわいづくりなど、文化観光の推進に関する事業の企画・実施

- ・岐阜市土産品協会をはじめとする地元企業との連携による岐阜市歴史博物館のオリジナルグッズ開発
- ・共通券の充実（「岐阜城下町きっぷ」の拡充、拠点施設に特化した共通券の開発等）
- ・岐阜城楽市に出店している飲食店や売店との連携による取組（特別展限定メニューの提供等）

文化観光拠点施設名	岐阜城天守閣
主要な文化資源	
【施設】 ・昭和 31 年に再建された二代目復興天守 ・城戸久氏（当時名古屋高等工業学校助教授、のちに名古屋工業大学名誉教授）が文献や絵図（加納城二の丸御三階櫓の図を評価）等の資料をもとに天守復原を検討、当時の研究水準で設計・建設がなされた。 ・重要文化的景観「長良川中流域における岐阜の文化的景観」の重要な構成要素 ・日本遺産「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜」の構成文化財 ・市内及び周辺地域のどこからでもその姿を見ることができる岐阜市のシンボル ・山上部の発掘調査で信長期の天守台石垣を発見（山上部の発掘調査は継続中） 【展示内容】 ・1 階… 信長公の城下町づくり 信長公が整備した岐阜城下やその治世を紹介 制札 3 点（複製）、稲葉山と岐阜町割図、岐阜城郭図、天目茶碗 2 点、青貝入黒漆鞍、打掛、黄金の織田信長公像（レプリカ） ・2 階… 信長公の城づくり 信長公の城づくりにかける想いを紐解く 岐阜城山上石垣模型、史跡岐阜城跡（織田信長居館跡）出土金箔飾り瓦（復元） ・3 階… 信長公の見た「世界」 岐阜の繁栄や世界に目を向けた信長公の先見性を顕彰 木造織田信長坐像（複製、原資料は大徳寺総見院蔵）、天下布武の印（複製）、紙本著色織田信長像（パネル、原資料は長興寺蔵）、武具関係、南蛮関係 ・4 階… 信長公のみた「天下」 眼下に広がる景色を望みながら天下布武を夢見た信長公に想いを馳せる	
	 信長期の天守台石垣
	 1 階の資料展示
	 3 階の資料展示
主要な文化資源についての解説・紹介の状況	
現状の取組	
<u>文化資源の魅力に関する情報を適切に活用した解説・紹介（施行規則第 1 条第 1 項第 1 号）</u>	
・館外壁面の説明板。岐阜城の歴史や由来を紹介 ・1～3 階のグラフィック展示。岐阜城や織田信長にまつわる様々なテーマを設定し、壁面に拡大した画像を掲載しながら分かりやすく解説。「信長公の居城変遷」という視点で清須城・小牧山城・安土城もあわせて紹介 ・1～3 階の資料展示。岐阜城や織田信長にまつわる資料の複製のほか、織田信長公岐阜入城・岐阜命名 450 周年を記念して製作された黄金の織田信長公像のレプリカや戦国甲冑鎧、銀箔押南蛮具足等が展示されている。 ・2 階の映像展示。日本遺産の取組で制作した織田信長公居館跡の CG 再現映像をリピート再生 ・4 階の展望施設。遠景の地名を記した写真・イラストを掲示し、四隅には望遠鏡を設置。惣構も含めた城下町の形状や町割、長良川の流路、小牧山城との位置関係など、ここでしか得ることのできない情報が多数存在する。	
<u>情報通信技術の活用を考慮した適切な方法を用いた解説・紹介（施行規則第 1 条第 1 項第 2 号）</u>	
・公式ホームページ。岐阜市の公式ホームページ内にて、岐阜城の概要、開館時間、入場料、交通アクセス等について紹介。ロープウェーなど、交通アクセスに関わる各種ホームページへのリンクが充実している。 ・メタバース岐阜城。QR コードを読み取ると、ウェブサイト上に構築された「岐阜城今昔 VR」に接続し、現地の 360 度パノラマ写真と戦国時代の CG を切り替えながら岐阜城を自由に見てまわることができる。 ・電子版パンフレットの公開。公式ホームページに PDF データを公開するとともに、館内に QR コードを掲示して誰でもその場で閲覧することができる環境が整えられている。 ・岐阜市公式 X。本市の観光・文化・スポーツに関する旬な情報を発信。	
<u>外国人観光旅客の来訪の状況に応じて、適切に外国語を用いた解説・紹介（施行規則第 1 条第 1 項第 3 号）</u>	
・1～3 階のグラフィック展示及び資料のキャプションに英語を併記 ・パンフレットの多言語化。英語・中国語（繁体字・簡体字）・韓国語の 4 種類	
本計画における取組	
<u>文化資源の魅力に関する情報を適切に活用した解説・紹介（施行規則第 1 条第 1 項第 1 号）</u>	
・展示リニューアル。岐阜城の姿に本質的に迫り顕在化することで、岐阜城が近世城郭の成立を考える上で重要な城であることを伝える。また、信長からおもてなしを受けた当時の人々の記録から信長の人となりを読み取り、天下人を目指した歴史、岐阜での生き様、人物像、エピソード等を解説する。 ・耐震補強や設備更新等の工事を行い、来訪者が安全かつ快適に展示を観覧するための環境を整える。	

情報通信技術の活用を考慮した適切な方法を用いた解説・紹介（施行規則第1条第1項第2号）

- ・Gifu-City Free Wi-Fiの強化。山頂ではインターネットへの接続が不安定になりやすいため、Wi-Fiを強化することでメタバース岐阜城や電子版パンフレット等をスムーズに閲覧できるようにする。
- ・公式ホームページのリニューアル。展示内容が一新されるため、新たな魅力や見どころを分かりやすく紹介。また、山頂という立地上、交通アクセスに関する情報は特に充実させる。
- ・SNSによる情報発信の強化。Facebook、X、YouTube、Instagram等、目的に応じたSNSの使い分けを行う。

外国人観光旅客の来訪の状況に応じて、適切に外国語を用いた解説・紹介（施行規則第1条第1項第3号）

- ・リニューアル後の展示コンテンツの多言語化。リニューアル前と同様に英語の併記を基本とするが、日本語の解説の直訳ではなく、観光庁「How To 多言語解説文整備」や文化庁「文化財の多言語化ハンドブック」等をもとにネイティブへの原稿作成を依頼。その他の言語についてはQRコードで対応

施行規則第1条第2項第1号の文化観光推進事業者との連携

現状の取組

文化観光の推進に関する多様な関係者との連携体制の構築

- ・岐阜観光コンベンション協会やORGANをはじめとする多様な関係者が参加する「未来の岐阜ツーリズム会議」の各種部会（国内誘客、インバウンド、MICE）において誘客等の調査や審議を行っている。
- ・岐阜観光コンベンション協会のホームページ「岐阜市観光ナビ」や各種パンフレットにて、観光スポットとして岐阜城天守閣を紹介
- ・大垣観光協会（地域連携DMO）等が主催する「戦国日本どまんなか お城LINEスタンプラリー」に参加。岐阜城を含む15城（犬山城、彦根城、長浜城、小牧山城、名古屋城等）を巡るデジタルスタンプラリー

文化観光の推進に関する各種データの収集・整理・分析

- ・令和4年度より外国人の観覧者に関するデータの収集を開始し、「未来の岐阜ツーリズム会議」において情報共有
- ・岐阜観光コンベンション協会が継続的に収集・整理・分析しているマーケティング情報を共有。岐阜城天守閣から各拠点施設に来訪者を誘導するための取組の検討に活用している。

文化観光の推進に関する事業の方針の策定及びKPIの設定・PDCAサイクルの確立

- ・岐阜市は令和2年に岐阜市観光ビジョンを策定し、本計画の最終年度でもある令和11年度の達成目標を設定

本計画における取組

文化観光の推進に関する多様な関係者との連携体制の構築

- ・岐阜観光コンベンション協会やORGANとともに、引き続き「未来の岐阜ツーリズム会議」にて各種課題や実施事業、取組の方向性について定期的に協議を行う。

文化観光の推進に関する各種データの収集・整理・分析

- ・岐阜観光コンベンション協会やORGANとともに、引き続き「未来の岐阜ツーリズム会議」にてマーケティングに基づく観光誘客に向けた戦略を立てる。

文化観光の推進に関する事業の方針の策定及びKPIの設定・PDCAサイクルの確立

- ・ぎふ歴史遺産活用推進協議会（構成員：岐阜市、岐阜観光コンベンション協会等）が本計画にて文化観光の推進に関する事業の方針の策定及びKPIの設定・PDCAサイクルの確立を行う。
- ・「未来の岐阜ツーリズム会議」でも情報を共有し、観光に関わる専門的見地から指導・助言を仰ぐ。

施行規則第1条第2項第2号の文化観光推進事業者との連携

現状の取組

文化観光を推進するための交通アクセスの充実や商店街を含めたにぎわいづくりなど、文化観光の推進に関する事業の企画・実施

- ・電車・バス・ロープウェーと岐阜城天守閣への入場がセットになった「岐阜城下町きっぷ」を名鉄が販売。また、岐阜バスが販売する「ぎふ登城きっぷ」にも岐阜城天守閣への入場券引換券が含まれている。
- ・お城専用 SNS×オンラインコミュニティ「デジタル城下町プロジェクト」のQRコード付きパネルを設置。岐阜城のほか、犬山城や郡上八幡城でも運用されている。

本計画における取組

文化観光を推進するための交通アクセスの充実や商店街を含めたにぎわいづくりなど、文化観光の推進に関する事業の企画・実施

- ・岐阜城天守閣を含めた新たなパッケージ商品の造成（既存の周遊券の充実、新たな周遊ツアー、クーポン、デジタルスタンプラリー等）

文化観光拠点施設名 岐阜市長良川鵜飼伝承館（長良川うかいミュージアム）

主要な文化資源

【施設】

＜館外＞

- ・交流体験広場 … イベント会場（鵜舟新造船進水式、長良川祭り、マルシェ等）
- ・鵜の生態展示 … 鵜匠家の鵜と同じく、野生のウミウを捕獲して飼育・展示

＜館内（無料）＞

- ・エントランスホール … 実物の川原石、鵜舟の一部、道具を展示して鵜飼を演出
- ・多目的スペース … 鵜飼の実演、長良川鵜飼文化の紹介パネル掲示（付け替え可能）
- ・ミュージアムショップ … オリジナルグッズ、岐阜の名産品、鮎加工品等を販売
- ・景観ラウンジ … 金華山や長良川の美しい景色を楽しみながらくつろげるスペース

＜その他＞

- ・貸出施設（会議室、四阿） ・ミュージアムカフェ「NAGARAGAWA TERRACE 1040」等

【展示内容】

- ・常設の展示室（有料） …

篝火トンネル（鵜匠のシルエット・屋号、篝火の映像と音の演出）

ガイダンスシアター（鵜飼の流れが分かる映像、鵜舟・鵜匠・船頭の模型と連動）

長良川鵜飼の歴史・トピックス（壁面の年表、椅子型の解説パネル）

鵜飼・長良川シンボルステージ（水中映像、模型と連動した体験型映像装置）

長良川鵜飼・歴史絵巻（グラフィック、鮎鮎の模型、御鮎街道すごろく、クイズ）

鵜匠の世界（鵜匠の一日と一年、道具の展示、壁面小型モニターによる映像）

鵜の世界（約4倍サイズの鵜の大型模型、鵜捕りのCG映像、クイズ）

鮎と長良川の世界（鮎の食み跡のある川原石の展示、篝を動かして鮎を探す体験装置）

清流長良川をいつまでも（長良川の水面を歩いてCGの鮎を追いかけるエンディング）

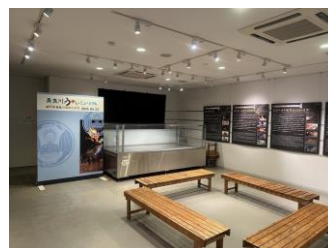
- ・特別展示室（有料） … 展示ケースを用いた長良川や鵜飼に関わる特別展示、長良川鵜飼用具データベース（検索装置）



交流体験広場



エントランスホール



多目的スペース

主要な文化資源についての解説・紹介の状況

現状の取組

文化資源の魅力に関する情報を適切に活用した解説・紹介（施行規則第1条第1項第1号）

- ・常設の展示室。ガイダンスシアターのある「水上の世界」（2階）で鵜飼の概要を理解してから「水面下の世界」（1階）に降りて鵜飼の奥深い魅力に触れるというコンセプトのもと、多種多様な展示コンテンツを展開
- ・船頭による解説。土日の9:00～12:00と13:00～15:00に、展示室内で鵜飼や鵜匠装束に関する解説を行っている。装束の製作実演を行う場合もある。
- ・2階の特別展示室。長良川や鵜飼をテーマにした特別展示を定期的に行うとともに、特別展示にちなんだ市民講座を毎年12回開催している。
- ・多目的スペースで行う鵜飼の実演。鵜匠の解説を聞きながら、鵜匠が鵜を扱う様子や透明な水槽で泳ぐ鮎を瞬時にして鵜が至る様子等を目の前で見るができる。

情報通信技術の活用を考慮した適切な方法を用いた解説・紹介（施行規則第1条第1項第2号）

- ・岐阜市歴史博物館が収蔵している長良川鵜飼用具のデータベース。特別展示室に設置されたタッチパネル式の検索装置で、写真や場面から鵜飼用具122点の解説を読むことができる。
- ・公式ホームページ。ランディングページで拠点施設の見どころが動画で流れ、検索者の興味関心を惹きつける工夫がなされている。また、パンフレットのPDFデータもアップロードされている。
- ・公式Facebook、X、Instagram。鵜飼の解説のほか、鵜飼に関わる行事やイベントなど、多岐にわたる情報を発信
- ・オンラインによる鵜飼の実演。多目的スペース付近に掲示したQRコードを読み込むと、鵜匠による鵜飼の実演が動画で再生される。

外国人観光旅客の来訪の状況に応じて、適切に外国語を用いた解説・紹介（施行規則第1条第1項第3号）

- ・GPSと連動した展示の多言語解説。英語・中国語（繁体字・簡体字）に対応しており、展示室の入口と各展示コンテンツに掲示したQRコードを読み込むことで多言語の解説を読むことができる。令和元年度に観光庁の「地域観光資源の多言語解説整備支援事業」を活用して導入
- ・パンフレット及び公式ホームページの多言語化。英語・中国語（繁体字・簡体字）・韓国語の4種類
- ・ガイダンスシアターの多言語対応。字幕を英語、中国語（2種類）に切り替えることができる。通常時は英語の字幕を併記

本計画における取組
文化資源の魅力に関する情報を適切に活用した解説・紹介（施行規則第1条第1項第1号） ・多目的スペースの機能強化として、移動式水槽の導入により鵜飼の実演を充実させるとともに、最新の取組や調査成果を踏まえた新たな解説パネルを作成 ・エントランスホールにおける鵜飼関連資料展示の充実。岐阜市長良川鵜飼伝承館が所蔵する資料だけでなく、岐阜市歴史博物館からも資料を借用し、展示する資料をパッケージ化して計画的に展示替えを行う。
情報通信技術の活用を考慮した適切な方法を用いた解説・紹介（施行規則第1条第1項第2号） ・SNSによる情報発信の強化。Facebook、X、Instagramを用いて、鵜飼に関わる情報発信に留まらず、他の拠点施設の紹介もあわせて行うことで、エリア全体の周遊促進に繋げる。
外国人観光旅客の来訪の状況に応じて、適切に外国語を用いた解説・紹介（施行規則第1条第1項第3号） ・解説パネルやキャプションの多言語化。英語の併記を基本とし、観光庁「How To 多言語解説文整備」や文化庁「文化財の多言語化ハンドブック」等をもとにネイティブへの原稿作成を依頼。人と動物との共生で成り立つ鵜飼の魅力外国人に対して的確に伝えるため、丁寧に言葉を選んで原稿を作成する。
施行規則第1条第2項第1号の文化観光推進事業者との連携
現状の取組
文化観光の推進に関する多様な関係者との連携体制の構築 ・岐阜観光コンベンション協会やORGANをはじめとする多様な関係者が参加する「未来の岐阜ツーリズム会議」の各種部会（国内誘客、インバウンド、MICE）において誘客等の調査や審議を行っている。 ・岐阜観光コンベンション協会のホームページ「岐阜市観光ナビ」や各種パンフレットにて、観光スポットとして岐阜市長良川鵜飼伝承館を紹介 ・ORGAN との共同により、「長良川かわべのじかんマルシェ」や「鵜飼まるごと体験ツアー～浴衣そぞろ歩き編～」等、様々なイベントを開催している。
文化観光の推進に関する各種データの収集・整理・分析 ・令和4年度より外国人の入場者に関するデータの収集を開始し、多様な関係者が参加する「未来の岐阜ツーリズム会議」において情報共有を図っている。
文化観光の推進に関する事業の方針の策定及びKPIの設定・PDCAサイクルの確立 ・岐阜市は令和2年に岐阜市観光ビジョンを策定し、市内主要観光施設延入込者数の令和11年度達成目標を設定している。
本計画における取組
文化観光の推進に関する多様な関係者との連携体制の構築 ・岐阜観光コンベンション協会やORGANとともに、引き続き「未来の岐阜ツーリズム会議」にて各種課題や実施事業、取組の方向性について定期的に協議を行う。
文化観光の推進に関する各種データの収集・整理・分析 ・岐阜観光コンベンション協会やORGANとともに、引き続き「未来の岐阜ツーリズム会議」にてマーケティングに基づく観光誘客に向けた戦略を立てる。
文化観光の推進に関する事業の方針の策定及びKPIの設定・PDCAサイクルの確立 ・ぎふ歴史遺産活用推進協議会（構成員：岐阜市、岐阜観光コンベンション協会等）が本計画にて文化観光の推進に関する事業の方針の策定及びKPIの設定・PDCAサイクルの確立を行う。 ・「未来の岐阜ツーリズム会議」でも情報を共有し、観光に関わる専門的見地から指導・助言を仰ぐ。
施行規則第1条第2項第2号の文化観光推進事業者との連携
現状の取組
文化観光を推進するための交通アクセスの充実や商店街を含めたにぎわいづくりなど、文化観光の推進に関する事業の企画・実施 ・鵜飼シーズン中の毎週土曜日に開催される「長良川夜市」の会場として、実行委員会に協力。 ・岐阜長良川鵜飼保存会と連携して、「鵜舟新造船進水式」や「鵜飼バックヤードツアー」などのイベントを開催。
本計画における取組
文化観光を推進するための交通アクセスの充実や商店街を含めたにぎわいづくりなど、文化観光の推進に関する事業の企画・実施 ・交流体験広場での新たな鵜飼観覧モデルを「長良川夜市」実行委員会と連携しながら造成

文化観光拠点施設名	CASA stella
主要な文化資源	
【施設】 <1階> ・和傘CASA … 全国唯一の岐阜和傘専門店。60本近くの和傘が常時展示・販売 ・ORGAN キモノ … アンティーク着物の着付けレンタルとリサイクル着物の販売を実施 <2階> ・OZEKI 川原町 gallery … 明治24年創業の株式会社オゼキによる岐阜提灯のギャラリー ・AKARI gallery … イサム・ノグチがデザインした「AKARI」の常設ギャラリー 【伝統工芸】 ・岐阜和傘（ミニ和傘絵付け体験、和傘骨職人の工房整備、「和傘の学校」の設置） ・岐阜提灯（提灯づくり体験、提灯絵付け体験） 【その他】 ・美濃国 戦国案内人（周辺エリアの有料ガイド） ・長良川デパート（「長良川」をテーマにしたお土産品の販売・開発） ・長良川てしごと町屋CASA（伝統工芸の体験・継承の場） ・長良川デパート体験スタジオ（「長良川」をテーマにした常設型体験提供施設）	
	
壁面の川原町マップ	
	
和傘CASA（販売商品）	
主要な文化資源についての解説・紹介の状況	
現状の取組	
<u>文化資源の魅力に関する情報を適切に活用した解説・紹介（施行規則第1条第1項第1号）</u>	
・1階ギャラリースペースでのタペストリー等を用いた和傘、提灯の製作行程の展示 ・1階店舗スペースでの和傘の実物展示・販売、販売員による解説 ・2階店舗スペースでの提灯の販売、販売員による解説 ・2階展示スペースでの「AKARI」の展示	
<u>情報通信技術の活用を考慮した適切な方法を用いた解説・紹介（施行規則第1条第1項第2号）</u>	
・現状、取り組みなし	
<u>外国人観光旅客の来訪の状況に応じて、適切に外国語を用いた解説・紹介（施行規則第1条第1項第3号）</u>	
・一部解説パネルの英語併記	
本計画における取組	
<u>文化資源の魅力に関する情報を適切に活用した解説・紹介（施行規則第1条第1項第1号）</u>	
・歴史考証を踏まえた解説パネル等の整備 ・施設や周辺エリア（川原町地区）全体の解説について、ウェブサイト等とあわせて整備を進める。 ・拠点施設を核とした岐阜のてしごとの魅力を伝えるガイドまち歩きコンテンツの充実 ・徒歩圏内にある体験スペース「長良川デパート体験スタジオ」との周遊強化と和傘、提灯等の伝統工芸体験の充実 ・拠点施設のユニークメニューとしての価値を高める企画展示や特別な体験（お座敷遊び、茶室の利用促進など）の造成	
<u>情報通信技術の活用を考慮した適切な方法を用いた解説・紹介（施行規則第1条第1項第2号）</u>	
・音声解説、デジタルサイネージなど、DX推進も視野に入れたユニバーサルな展示の整備 ・周辺施設、エリアでの体験コンテンツの紹介、予約が可能なウェブサイトの整備	
<u>外国人観光旅客の来訪の状況に応じて、適切に外国語を用いた解説・紹介（施行規則第1条第1項第3号）</u>	
・多言語解説の充実。観光庁「How To 多言語解説文整備」や文化庁「文化財の多言語化ハンドブック」等をもとにネイティブへの原稿作成を依頼 ・ウェブサイトの多言語化（英語・中国語（繁体字・簡体字）・韓国語）。観光庁「How To 多言語解説文整備」や文化庁「文化財の多言語化ハンドブック」等をもとにネイティブへの原稿作成を依頼 ・多言語解説ガイドの手配、ガイド派遣機能の強化	
施行規則第1条第2項第1号の文化観光推進事業者との連携	
現状の取組	
<u>文化観光の推進に関する多様な関係者との連携体制の構築</u>	
・岐阜観光コンベンション協会や岐阜市と観光分野における課題や事業方針について情報を共有。「未来の岐阜ツーリズム会議」等の審議事項にかかる情報を共有し、専門的見地から指導・助言を仰いでいる。	
<u>文化観光の推進に関する各種データの収集・整理・分析</u>	
・「岐阜市日本遺産マーケティング調査」の実施	

文化観光の推進に関する事業の方針の策定及びKPIの設定・PDCAサイクルの確立 ・現状、取り組みなし
本計画における取組
文化観光の推進に関する多様な関係者との連携体制の構築 ・関係各所との連携継続とあわせ、新規コンテンツにかかる事業者との調整を進める。
文化観光の推進に関する各種データの収集・整理・分析 ・施設入り込み数の把握（自動カウンターを用いた計測） ・アンケート・顧客情報等を通じた属性データ等の収集・整理・分析 ・SNS活用、SEO等を通してウェブデータのマイニング・分析を進める。
文化観光の推進に関する事業の方針の策定及びKPIの設定・PDCAサイクルの確立 ・上記で収集したデータを活用し、拠点施設の運営方針を策定。施設およびエリアの魅力向上に資する KPI、KGI を設定し、常にアップデートしながら事業を進める。
施行規則第 1 条第 2 項第 2 号の文化観光推進事業者との連携
現状の取組
文化観光を推進するための交通アクセスの充実や商店街を含めたにぎわいづくりなど、文化観光の推進に関する事業の企画・実施 ・岐阜和傘協会、岐阜提灯協同組合、川原町まちづくり会、その他周辺事業者との連携により施設整備を実施
本計画における取組
文化観光を推進するための交通アクセスの充実や商店街を含めたにぎわいづくりなど、文化観光の推進に関する事業の企画・実施 ・川原町地区の店舗をはじめ、岐阜公園、岐阜城楽市、ぎふ金華山ロープウェーなどの集客拠点と連携し、拠点施設への誘客を促す仕組みの整備を進める。 （例）双方向性のあるデジタルサイネージの導入、 LINE 等を用いたデジタルスタンプラリーやデジタルチケットの造成・販売 等

8. 地域文化観光推進事業

8-1. 事業の内容

8-1-1. 文化資源の総合的な魅力の増進に関する事業

(事業番号 1-①) ※関連事業：1-③、1-④、5-②、5-④、5-⑦

事業名	【岐阜市歴史博物館】リニューアル（第1期・展示コンテンツ制作）
事業内容	「あっ、これ好き！ぎふ楽～ぎふの魅力に「気づく」、ぎふの歴史を「深める」、ぎふを「楽しむ」～」をコンセプトに博物館のリニューアルを行い、拠点施設としての魅力向上を図る。 リニューアル第1期として、総合展示室改装に伴う展示コンテンツ（グラフィック、映像・音響ソフト、情報コンテンツ、模型・造形等）の制作を行い、新たな6つのコーナー（「ぎふタイムマシン」「戦国コレクション」「タイムトリップ in 城下町」「マイ・トレジャー・ウォーク」「ぎふヒストリー展示」「ぎふ楽プレイコーナー」）で文化資源の解説を行う。
実施主体	岐阜市
実施時期	令和7年度
継続見込	リニューアルオープン以降、アンケート調査により来訪者の意見を取り入れながら、必要に応じてコンテンツの追加等を行う。
アウトプット 目標	リニューアルオープン（令和8年度）
必要資金 調達方法	84 百万円 内訳：73 百万円（自主財源）、11 百万円（新しい地方経済・生活環境創生交付金（内閣府））

(事業番号 1-②) ※関連事業：5-③、5-⑦

事業名	【岐阜市歴史博物館】リニューアル（第2期・解説機能強化）
事業内容	「あっ、これ好き！ぎふ楽～ぎふの魅力に「気づく」、ぎふの歴史を「深める」、ぎふを「楽しむ」～」をコンセプトに博物館のリニューアルを行い、拠点施設としての魅力向上を図る。 リニューアル第2期として、観光庁「How To 多言語解説文整備」や文化庁「文化財の多言語化ハンドブック」等をもとに、ネイティブの原稿作成による英語を併記した解説パネル及びキャプションを総合展示室の各コーナーに設置する。また、「戦国コレクション」の岐阜城下町プロジェクトマップや戦国情報端末、「タイムトリップ in 城下町」の各種体験道具等、文化資源を分かりやすく紹介するためのコンテンツを充実させ、総合展示室の解説機能を強化する。
実施主体	岐阜市
実施時期	令和8年度
継続見込	リニューアルオープン以降、アンケート調査により来訪者の意見を取り入れながら、必要に応じてコンテンツの追加等を行う。
アウトプット 目標	リニューアルオープン（令和8年度）
必要資金 調達方法	33 百万円 内訳：11 百万円（自主財源）、22 百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））

(事業番号 1-③) ※関連事業：1-①

事業名	【岐阜市歴史博物館】総合展示室での解説映像・体験メニュー充実
事業内容	リニューアル後の総合展示室のさらなる魅力向上のため、最新の調査成果を踏まえた戦国時代や岐阜城、織田信長等にクローズアップした解説映像を制作し、「タイムトリップ in 城下町」における武家屋敷のモニターで上映。また、武家屋敷にて、戦国時代の武士の生活を体験できるメニューを追加する。新たなコンテンツを追加し続けることで、リピーターの確保と戦国時代の岐阜についての理解促進に繋げる。
実施主体	岐阜市
実施時期	令和9～11年度
継続見込	計画期間終了までに完了
アウトプット 目標	「タイムトリップ in 城下町」における武家屋敷での解説映像・体験メニュー追加
必要資金 調達方法	18 百万円 内訳：6 百万円（自主財源）、12 百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））

(事業番号 1-④) ※関連事業：1-①、2-②

事業名	【岐阜市歴史博物館】デジタルアーカイブの活用
事業内容	館蔵資料のデジタル化を行い、デジタルアーカイブの公開用ウェブサイトやジャパンサーチ、1階のエントランスで操作するまち歩きのための情報コンテンツ等で公開し、館蔵資料の魅力を広く発信する。加えて、登録したデータを総合展示室の「マイ・トレジャー・ウォーク」に随時追加することで、リニューアル後も継続して総合展示室の充実を図る。
実施主体	岐阜市
実施時期	令和9～11年度
継続見込	計画期間終了までに完了
アウトプット 目標	デジタルアーカイブ数3,000点 (令和9年度：1,000点／令和10年度：1,000点／令和11年度：1,000点)
必要資金 調達方法	9百万円 内訳：3百万円（自主財源）、6百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））

(事業番号 1-⑤) ※関連事業：5-④

事業名	【加藤栄三・東一記念美術館】解説パネルの多言語化
事業内容	導入部の解説機能強化を目的に、加藤栄三・東一両画伯の画業や作品の魅力を紹介する解説パネルを玄関に設置。両画伯と地域の文化資源を結び付ける分かりやすい解説内容にするとともに、観光庁「How To 多言語解説文整備」や文化庁「文化財の多言語化ハンドブック」等をもとに、ネイティブの原稿作成による英語を併記する。
実施主体	岐阜市
実施時期	令和9年度
継続見込	計画期間終了までに完了
アウトプット 目標	英語を併記した解説パネルの設置
必要資金 調達方法	0.9百万円 内訳：0.3百万円（自主財源）、0.6百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））

(事業番号 1-⑥) ※関連事業：1-⑦

事業名	【岐阜城天守閣】展示リニューアル
事業内容	「岐阜城の真の姿に迫り信長公とともに天下を夢みる」という全体コンセプトのもと、天守閣の展示の全面リニューアルを行い、拠点施設としての魅力向上を図る。 他の拠点施設とガイダンスする内容の役割分担を行いながら、フロアコンセプト（「1階：天下への起点 岐阜城歴史の間」「2階：天下布武 信長の間」「3階 天下眺望 誘いの間」「4階 天下夢みる 眺望の間」）を明確に打ち出し、ストーリー性のある解説を行う。
実施主体	岐阜市
実施時期	令和8～9年度
継続見込	計画期間終了までに完了
アウトプット 目標	リニューアルオープン（令和9年度）
必要資金 調達方法	150百万円 内訳：75百万円（自主財源）、75百万円（社会資本整備総合交付金（国交省））

(事業番号 1-⑦) ※関連事業：1-⑥

事業名	【岐阜城天守閣】展示コンテンツの多言語化
事業内容	リニューアルに伴い制作する展示コンテンツの解説文を対象に、観光庁「How To 多言語解説文整備」や文化庁「文化財の多言語化ハンドブック」等をもとに多言語化を行う。
実施主体	岐阜市
実施時期	令和9年度
継続見込	計画期間終了までに完了
アウトプット 目標	リニューアルオープン（令和9年度）
必要資金 調達方法	4.5百万円 内訳：1.5百万円（自主財源）、3百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））

(事業番号 1-⑧) ※関連事業：5-⑨

事業名	【岐阜市長良川鵜飼伝承館】多目的スペースの機能強化
事業内容	多目的スペースで行う鵜飼の実演をより充実させるとともに、最新の取組や調査成果を踏まえた新たな解説パネルを作成し、鵜飼の実演に伴う鵜匠説明（鵜飼の歴史、鵜の特徴、道具等）の際やバックヤードツアーにおける出発前のガイダンス（鵜飼の全体像、鵜飼を支える職人、鵜飼屋地区の地理情報等）の際に活用する。また、解説パネルには、観光庁「How To 多言語解説文整備」や文化庁「文化財の多言語化ハンドブック」等をもとに、ネイティブの原稿作成による英語を併記する。
実施主体	JNF うかいミュージアム
実施時期	令和9年度
継続見込	計画期間終了までに完了
アウトプット 目標	鵜飼の実演の充実、新たな解説パネルの設置
必要資金 調達方法	0.9百万円 内訳：0.3百万円（自主財源）、0.6百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））

(事業番号 1-⑨)

事業名	【岐阜市長良川鵜飼伝承館／岐阜市歴史博物館】両館連携による鵜飼関連資料展示の充実
事業内容	岐阜市長良川鵜飼伝承館及び岐阜市歴史博物館が所蔵する長良川の鵜飼に関連する資料を、岐阜市長良川鵜飼伝承館の無料ゾーンとなっているエントランスホールに展示する。鵜飼とそれを取り巻く伝統技術、歴史、文化、芸術などについて複数のテーマを設定し、展示する資料をパッケージ化して計画的に展示替えを行う。各パッケージで作成する解説パネル及びキャプションには、観光庁「How To 多言語解説文整備」や文化庁「文化財の多言語化ハンドブック」等をもとに、ネイティブの原稿作成による英語を併記することで、外国人にも鵜飼の魅力を的確に伝える。 また、両館相互に展示中の資料を来訪者に常時紹介することで、エリア全体の回遊性を促進する。
実施主体	岐阜市、JNF うかいミュージアム
実施時期	令和11年度
継続見込	計画期間終了後も自主財源で継続
アウトプット 目標	鵜飼関連資料の展示
必要資金 調達方法	0.6百万円 内訳：0.2百万円（自主財源）、0.4百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））

(事業番号 1-⑩)

事業名	【CASA stella】長良川のでしごとに関する解説の充実
事業内容	岐阜提灯や岐阜和傘等をつくる長良川のでしごとの魅力を伝えるため、エリア全体の歴史考証を踏まえた解説パネルを拠点施設の導入部に設置する。拠点施設全体の解説についても、多言語化や音声解説など、ユニバーサルな展示を念頭に整備する。 また、ガイド（3名）・キュレーター（1名）の育成やガイドの派遣体制の整備を行うとともに、2階展示スペースでの展示替えや企画展示の開催を通じて、キュレーションや情報発信力の強化に繋げる。
実施主体	特定非営利活動法人 ORGAN
実施時期	令和7・9・10年度
継続見込	計画期間終了後も自主財源で継続
アウトプット 目標	解説パネルの設置、多言語解説・音声解説の整備、ガイド・キュレーターの育成
必要資金 調達方法	15百万円 内訳：5百万円（自主財源）、10百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））

8-1-2. 地域内を移動する国内外からの観光旅客の移動の利便の増進その他の地域における文化観光に関する利便の増進に関する事業

(事業番号2-①) ※関連事業：5-①

事業名	【共通】まち歩き誘導看板の整備
事業内容	各拠点施設間における来訪者の回遊性・利便性向上のため、既存のまち歩き誘導看板の板面の地図情報等更新や文化財情報の充実を図る。
実施主体	岐阜市
実施時期	令和9年度
継続見込	計画期間終了後も自主財源で継続
アウトプット目標	まち歩き誘導看板の設置 (75 基程度)
必要資金調達方法	6 百万円 内訳：2 百万円（自主財源）、4 百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））

(事業番号2-②) ※関連事業：1-④、5-⑥

事業名	【岐阜市歴史博物館】まち歩き促進のための新たな展示コンテンツ導入
事業内容	リニューアルにあわせて、新たに無料ゾーンとなる博物館の1階エントランスに、地域の文化資源と館蔵資料を結び、まち歩きに繋げていくため、ストーリー模型・検索端末からなる新たな展示コンテンツを導入する。 ストーリー模型の製作にあたっては、織田信長がルイス・フロイスを山麓の居館でもてなしている様子など、日本遺産・ぎふ歴史遺産のストーリーの象徴的なシーンを分かりやすく再現し、視覚的にストーリーへの理解を促す。 検索端末では、日本遺産・ぎふ歴史遺産のストーリーや構成文化財、それらに関連する博物館のデジタルアーカイブを一覧表や地図から検索することができる機能を付与し、総合展示室を観覧して新たに興味を持った文化資源や他の拠点施設を地図上で繋ぎ、オリジナルのまち歩きコースをその場で作ることも可能とするほか、情報コンテンツをウェブサイト上に構築することで、検索端末に表示したQRコードをスマートフォンで読み込み、まち歩きのサポートができるようにする。
実施主体	岐阜市
実施時期	令和8年度
継続見込	計画期間終了後は自主財源で情報コンテンツの内容更新及び保守管理を実施
アウトプット目標	展示コンテンツの運用開始（令和8年度）
必要資金調達方法	30 百万円 内訳：15 百万円（自主財源）、15 百万円（新しい地方経済・生活環境創生交付金（内閣府））

(事業番号2-③) ※関連事業：5-⑤

事業名	【岐阜市歴史博物館】入館者管理システムの導入
事業内容	オンライン予約、キャッシュレス決済、観覧券の発券、入退場管理、商品管理、観覧者情報のデータ管理等を総合的に行う入館者管理システムを導入する。システム運用により入手した観覧者情報（属性、来訪目的、嗜好等）をデータベース化し、詳細に分析することで、ターゲットのニーズに合致したコンテンツ開発や展覧会の企画、総合展示室の改善、PR戦略の立案、ミュージアムショップでの販売促進、デジタルマーケティングへの活用など、エビデンスに基づく顧客満足度向上のための戦略的な事業を展開する。
実施主体	岐阜市
実施時期	令和9年度
継続見込	計画期間終了後は自主財源でシステムの保守管理を実施
アウトプット目標	入館者管理システムの運用開始（令和9年度）
必要資金調達方法	3 百万円 内訳：1 百万円（自主財源）、2 百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））

8-1-3. 地域における文化観光拠点施設その他の文化資源保存活用施設と飲食店、販売施設、宿泊施設その他の国内外からの観光旅客の利便に供する施設との連携の促進に関する事業

(事業番号 3-①)

事業名	【共通】滞在促進に向けたパッケージ商品の造成
事業内容	ORGANと連携し、日本遺産やぎふ歴史遺産をテーマに、拠点施設を組み込んだ周遊ツアーを造成する。特に、ORGANが人材育成を進めてきた「美濃国 戦国案内人」をガイドに、「岐阜を舞台とした戦国時代のドラマ」にスポットを当てたツアーを造成することで、戦国時代の文化資源の魅力や価値を知りたいツアー参加者の満足度を高める。また、岐阜市土産品協会とも連携し、各社の製造ノウハウを活かした体験メニュー（戦国着付け体験、刀を使った戦国エクササイズ体験、鮎の塩焼き体験等）をツアーに組み込むことで、経済波及効果の創出にも繋げる。 岐阜観光コンベンション協会、名古屋鉄道株式会社、岐阜観光索道株式会社と連携し、現行の「岐阜城下町きっぷ」の対象に岐阜城天守閣以外の拠点施設の観覧券を新たに加え、各拠点施設の共通券としての役割を付与したセット商品を開発するほか、旅館・ホテルの宿泊プランと連携した販売範囲の拡充等、パッケージ商品の充実を図る。
実施主体	岐阜市、ORGAN、岐阜観光コンベンション協会、名古屋鉄道株式会社、岐阜観光索道株式会社、岐阜市土産品協会
実施時期	令和10～11年度
継続見込	計画期間終了後も自主財源で継続
アウトプット 目標	新たな「岐阜城下町きっぷ」の販売開始（令和10年度） 新たな周遊ツアーの販売開始（令和11年度）
必要資金 調達方法	6百万円 内訳：6百万円（自主財源）

(事業番号 3-②) ※関連事業：5-⑥

事業名	【岐阜市歴史博物館】オリジナルグッズの開発
事業内容	来訪者が来館の記念として購入したくなるようなオリジナルグッズを開発する。博物館の顔となる館蔵資料をモチーフに、学芸員と地元企業が企画段階から一体となって開発を進めることにより、質の高いアイデアを取り入れた博物館ならではの高付加価値な商品を生み出す。 また、博物館のブランドイメージを定着させるためのロゴマークとキャラクターを新たに制作し、開発したオリジナルグッズ等に活用する。
実施主体	岐阜市、岐阜市土産品協会
実施時期	令和7～10年度
継続見込	計画期間終了までに完了
アウトプット 目標	新たなオリジナルグッズの販売、ロゴマーク・キャラクターによる情報発信
必要資金 調達方法	4.35百万円 内訳：1.45百万円（自主財源）、2.9百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））

(事業番号3-③)

※関連事業：5-⑩

事業名	【岐阜市長良川鵜飼伝承館】交流体験広場を活用したコンテンツ造成
事業内容	金華山・長良川の美しい眺望が眼前に広がる交流体験広場を活用して、様々な民間事業者との連携によりイベントや体験アクティビティ等のコンテンツを造成する。 その一環として、長良川沿いの立地を活かした新たな鵜飼観覧モデルを導入。栈敷を設置して高い場所から俯瞰して鵜飼を観覧することができるようにするとともに、鵜舟の隊列の組み方や「狩り下り」「絵がらみ」等の観覧手法を解説する説明板を栈敷に取り付ける。また、遠くから鵜舟の動きを目で追うだけでなく、鵜匠や船頭の技や鵜が鮎を捕らえる様子をアップで見ることができるよう、貸出用の双眼鏡を用意。加えて、「長良川夜市」実行委員会とも連携し、飲食の提供や雑貨などの販売も行いながら、楽しく鵜飼の魅力を理解できる場を創出する。
実施主体	岐阜市、JNF うかいミュージアム
実施時期	令和9年度
継続見込	計画期間終了後も自主財源で継続
アウトプット目標	新たな鵜飼観覧モデルの運用開始（令和9年度）
必要資金 調達方法	1.5百万円 内訳：0.5百万円（自主財源）、1百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））

(事業番号3-④)

事業名	【CASA stella】外国人向けの体験コンテンツ造成
事業内容	「長良川デパート」や「長良川てしごと町屋 CASA」など、川原町地区にある他の施設との連携により外国人向けの体験コンテンツを造成。 観光庁に登録されているインバウンド観光アドバイザーを交えてコンテンツの内容を決定し、モニターツアーによる検証を踏まえた磨き上げを行う。また、コンテンツ造成に伴い、多言語の体験説明資材やコンテンツタリフを製作する。 コンテンツ例： ・拠点施設2階の茶室を活用した茶道体験 ・拠点施設2階の「AKARI gallery」を活用した特別な演出のお座敷遊び ・着物着付け・工芸体験・まち歩きをセットにしたフォトツアー ・定常型体験施設「長良川体験スタジオ」における体験コンテンツの充実 等
実施主体	特定非営利活動法人 ORGAN
実施時期	令和7・9・10年
継続見込	計画期間終了後も自主財源で継続
アウトプット目標	体験コンテンツ（3件以上）の販売開始
必要資金 調達方法	18百万円 内訳：6百万円（自主財源）、12百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））

8-1-4. 国内外における地域の宣伝に関する事業

(事業番号 4-①)

事業名	【岐阜市歴史博物館】公式ホームページのリニューアル
事業内容	博物館のリニューアルに合わせて、公式ホームページのリニューアルを行う。博物館を旅の目的地に選んでもらえるよう、ランディングページで博物館の魅力や見どころが一目で分かるような工夫を施す。他にも、基本的な情報の更新や多言語の追加対応等、より充実したホームページの構築を目指す。
実施主体	岐阜市
実施時期	令和 8 年度
継続見込	計画期間終了後は自主財源でホームページの内容更新及び保守管理を実施
アウトプット 目標	ホームページの公開開始（令和 8 年度）
必要資金 調達方法	3.9 百万円 内訳：1.3 百万円（自主財源）、2.6 百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））

(事業番号 4-②) ※関連事業：5-⑧

事業名	【岐阜市歴史博物館】プロモーション映像の制作
事業内容	博物館の魅力や見どころを紹介するプロモーション映像を制作し、認知度向上とイメージアップを図る。全体をまとめたショートバージョン（30 秒程度）と、総合展示室のコーナーごとにイチオシの館蔵資料を紹介したロングバージョン（各コーナー1 分程度）の 2 種類を制作し、公式ホームページや YouTube のほか、館内外のデジタルサイネージにて公開する。
実施主体	岐阜市
実施時期	令和 10 年度
継続見込	計画期間終了までに完了
アウトプット 目標	プロモーション映像の公開開始（令和 10 年度）
必要資金 調達方法	4.5 百万円 内訳：1.5 百万円（自主財源）、3 百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））

8-1-5. 1. ～4. の事業に必要な施設又は設備の整備に関する事業

(事業番号5-①) ※関連事業：2-①

事業名	【共通】バスロケーションシステムの導入
事業内容	多くの観光客が訪れるぎふメディアコスモスに、岐阜バスの時刻や運行状況を表示するバスロケーションシステムを導入する。「岐阜公園・岐阜城」や「長良橋北・鶯飼屋」のバス停に向かうバスの情報をリアルタイムで表示することで、ぎふメディアコスモスから各拠点施設への周遊を促す。
実施主体	岐阜市
実施時期	令和10年度
継続見込	計画期間終了までに完了
アウトプット 目標	バスロケーションシステムの設置
必要資金 調達方法	9百万円 内訳：3百万円（自主財源）、6百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））

(事業番号5-②) ※関連事業：1-①

事業名	【岐阜市歴史博物館】リニューアル（第1期・展示環境整備）
事業内容	リニューアル第1期の展示コンテンツ制作に伴い、必要な展示環境（展示造作、展示具、電気・照明設備、映像・音響設備）の整備を行う。
実施主体	岐阜市
実施時期	令和7年度
継続見込	リニューアルオープン以降、必要に応じて追加の整備を行う。
アウトプット 目標	リニューアルオープン（令和8年度）
必要資金 調達方法	331百万円 内訳：286百万円（自主財源）、45百万円（新しい地方経済・生活環境創生交付金（内閣府））

(事業番号5-③) ※関連事業：1-②

事業名	【岐阜市歴史博物館】リニューアル（第2期・展示環境整備）
事業内容	リニューアル第2期の解説機能強化に伴い、必要な展示環境（展示造作、展示具、電気・照明設備、映像・音響設備）の整備を行う。
実施主体	岐阜市
実施時期	令和8年度
継続見込	リニューアルオープン以降、必要に応じて追加の整備等を行う。
アウトプット 目標	リニューアルオープン（令和8年度）
必要資金 調達方法	42百万円 内訳：14百万円（自主財源）、28百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））

(事業番号5-④) ※関連事業：1-①、1-⑤

事業名	【岐阜市歴史博物館／加藤栄三・東一記念美術館】資料・作品鑑賞のための環境整備
事業内容	岐阜市歴史博物館において、資料の魅力を最大限に引き出せるよう、展示ケースの新規導入及び改修を行う。総合展示室の「ぎふヒストリー展示」のエンディングの見どころとなる貴重な一品を展示するため、四方から資料を観覧できる行灯型4面ガラスケースを導入する。また、特別展示室の既存のケースについて適切な調光が可能なLED照明に取り換えるとともに、資料を引き立てるようクロスの張り替えを行う。 加藤栄三・東一記念美術館において、あらゆる来訪者が展示室内でスムーズに作品を鑑賞することができ、かつメンテナンスが容易となるよう、絨毯の床を固い素材のものに張り替える。また、展覧会の世界観を阻害せず、かつ作品の保護を図るため、作品鑑賞を妨げない展示用バリケードを導入する。
実施主体	岐阜市
実施時期	令和7・11年度
継続見込	計画期間終了までに完了
アウトプット 目標	岐阜市歴史博物館：展示ケースの新規導入及び改修（令和7年度） 加藤栄三・東一記念美術館：展示室の床張り替え、展示用バリケードの導入（令和11年度）
必要資金 調達方法	27.6百万円 内訳：9.2百万円（自主財源）、18.4百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））

(事業番号5-⑤) ※関連事業：2-③

事業名	【岐阜市歴史博物館】自動発券機・入退場管理ゲートの設置
事業内容	入館者管理システムの導入に伴い、1階の受付周辺にキャッシュレス決済対応の自動発券機を設置するとともに、1階特別展示室と2階総合展示室の出入口にQRコード対応の入退場管理ゲートを設置する。
実施主体	岐阜市
実施時期	令和9年度
継続見込	計画期間終了後は自主財源で設備の保守管理を実施
アウトプット 目標	自動発券機（自立型2基）・入退場管理ゲート（計4基）の運用開始（令和9年度）
必要資金 調達方法	12百万円 内訳：4百万円（自主財源）、8百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））

(事業番号5-⑥) ※関連事業：2-②、3-②

事業名	【岐阜市歴史博物館】1階無料ゾーンの利便増進
事業内容	リニューアルを契機として新たに無料ゾーンに設定した1階を対象に、観覧者だけでなくふらっと立ち寄った観光客も憩いの場として利用しやすいよう、受付及びミュージアムショップの改修及びコインロッカーの整備等、利便増進のための環境整備を行う。
実施主体	岐阜市
実施時期	令和10～11年度
継続見込	計画期間終了までに完了
アウトプット 目標	1階無料ゾーンの環境整備
必要資金 調達方法	4.5百万円 内訳：1.5百万円（自主財源）、3百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））

(事業番号5-⑦) ※関連事業：1-①、1-②、5-⑧

事業名	【岐阜市歴史博物館】安定的な通信環境の整備
事業内容	ネットワークへの接続を必要とする展示コンテンツやデジタルサイネージなどの設備を稼働するために、インターネット回線の増設やWi-Fi整備を行う。また、インバウンド対応を念頭に、来訪者がデジタルアーカイブと連動したコンテンツやアプリを組み合わせで閲覧できるコンテンツ等を快適に操作できるよう、最適な数のアクセスポイントを設置し、安定的な通信環境を整える。
実施主体	岐阜市
実施時期	令和7年度
継続見込	計画期間終了までに完了
アウトプット 目標	インターネット回線の増設、Wi-Fiの整備（令和7年度）
必要資金 調達方法	3百万円 内訳：1百万円（自主財源）、2百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））

(事業番号5-⑧) ※関連事業：4-②、5-⑦

事業名	【岐阜市歴史博物館／加藤栄三・東一記念美術館】デジタルサイネージの設置
事業内容	館内外にデジタルサイネージを新たに設置し、プロモーション映像を上映するとともに、周遊のための情報（拠点施設の開館時間、休館日、アクセス方法等）を発信する。ネットワーク配信型のデジタルサイネージを導入することで、リアルタイムの情報更新ができるようにする。
実施主体	岐阜市
実施時期	令和9年度
継続見込	計画期間終了後は自主財源でデジタルサイネージの保守管理を実施
アウトプット 目標	デジタルサイネージの設置 （岐阜市歴史博物館：館内2基／加藤栄三・東一記念美術館：館外1基・館内1基）
必要資金 調達方法	7.5百万円 内訳：2.5百万円（自主財源）、5百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））

(事業番号5-⑨) ※関連事業：1-⑧

事業名	【岐阜市長良川鵜飼伝承館】鵜飼の実演を行う移動式水槽の導入
事業内容	多目的スペースの解説機能強化に伴い、遠方地での鵜飼の実演、オフシーズンにおける鵜飼の紹介イベント等で用いることを想定した、移動式の水槽を新たに導入する。水中での鵜の動きや鮎を捕らえる様子がよりクリアかつダイナミックに鑑賞できる水槽とすることで、普段の鵜飼観覧船からは見ることのできない鵜飼の水面下の世界を間近で体感することのできる環境を整える。
実施主体	岐阜市
実施時期	令和9年度
継続見込	計画期間終了までに完了
アウトプット 目標	新たな水槽による鵜飼の実演（遠方での実演含む）
必要資金 調達方法	7.5百万円 内訳：2.5百万円（自主財源）、5百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））

(事業番号5-⑩) ※関連事業：3-③

事業名	【岐阜市長良川鵜飼伝承館】栈敷の設置
事業内容	交流体験広場での新たな鵜飼観覧モデル造成に伴い、座って快適に鵜飼観覧ができる栈敷を設置する。安全性の確保はもとより、周囲の景観と調和したデザインであること、館内の景観ラウンジからの眺望を阻害しない高さであること等に留意する。
実施主体	岐阜市
実施時期	令和9年度
継続見込	計画期間終了までに完了
アウトプット 目標	栈敷による鵜飼観覧の運用開始
必要資金 調達方法	7.5百万円 内訳：2.5百万円（自主財源）、5百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））

8-2 特別の措置に関する事項

8-2-1. 必要とする特例措置の内容

事業番号・事業名	
必要とする特例の根拠	
特例措置を受けようとする主体	
特例措置を受けようとする事業内容	
当該事業実施による文化観光推進に対する効果	
オブジェ等の構造	
オブジェ等の工事实施の方法（※）	
工事期間（※）	
復旧方法（※）	
関係協議先	

8-2-2. オブジェ等の設置に関する取組等

申請の名称	
申請の根拠法令・条項	
設置の目的	
設置期間	
設置場所	
オブジェ等の構造	
オブジェ等の工事实施の方法（※）	
工事期間（※）	
復旧方法（※）	
関係協議先	

8-3. 必要な資金の額及び調達方法

以下に示す事業のうち補助金を想定している事業に関しては、国の予算事業等について、記載のとおり調達できない場合には、自己資金による対応等について検討する。

	総事業費	事業番号	所要資金額	内訳
令和7年度	443.35 百万円	事業番号1－①	84 百万円	73 百万円（自主財源） 11 百万円（新しい地方経済・生活環境創生交付金（内閣府））
		事業番号1－⑩	3 百万円	1 百万円（自主財源） 2 百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））
		事業番号3－②	0.75 百万円	0.25 百万円（自主財源） 0.5 百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））
		事業番号3－④	6 百万円	2 百万円（自主財源） 4 百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））
		事業番号5－②	331 百万円	286 百万円（自主財源） 45 百万円（新しい地方経済・生活環境創生交付金（内閣府））
		事業番号5－④	15.6 百万円	5.2 百万円（自主財源） 10.4 百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））
		事業番号5－⑦	3 百万円	1 百万円（自主財源） 2 百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））
令和8年度	185.1 百万円	事業番号1－②	33 百万円	11 百万円（自主財源） 22 百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））
		事業番号1－⑥	75 百万円	37.5 百万円（自主財源） 37.5 百万円（社会資本整備総合交付金（国交省））
		事業番号2－②	30 百万円	15 百万円（自主財源） 15 百万円（新しい地方経済・生活環境創生交付金（内閣府））
		事業番号3－②	1.2 百万円	0.4 百万円（自主財源） 0.8 百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））
		事業番号4－①	3.9 百万円	1.3 百万円（自主財源） 2.6 百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））
		事業番号5－③	42 百万円	14 百万円（自主財源） 28 百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））
令和9年度	151.5 百万円	事業番号1－③	6 百万円	2 百万円（自主財源） 4 百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））
		事業番号1－④	3 百万円	1 百万円（自主財源） 2 百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））
		事業番号1－⑤	0.9 百万円	0.3 百万円（自主財源） 0.6 百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））
		事業番号1－⑥	75 百万円	37.5 百万円（自主財源） 37.5 百万円（社会資本整備総合交付金（国交省））
		事業番号1－⑦	4.5 百万円	1.5 百万円（自主財源） 3 百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））
		事業番号1－⑧	0.9 百万円	0.3 百万円（自主財源） 0.6 百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））
		事業番号1－⑩	6 百万円	2 百万円（自主財源） 4 百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））
		事業番号2－①	6 百万円	2 百万円（自主財源） 4 百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））
		事業番号2－③	3 百万円	1 百万円（自主財源） 2 百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））
		事業番号3－②	1.2 百万円	0.4 百万円（自主財源） 0.8 百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））
		事業番号3－③	1.5 百万円	0.5 百万円（自主財源） 1 百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））
		事業番号3－④	9 百万円	3 百万円（自主財源） 6 百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））
		事業番号5－⑤	12 百万円	4 百万円（自主財源） 8 百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））

		事業番号5－⑧	7.5百万円	2.5百万円（自主財源） 5百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））
		事業番号5－⑨	7.5百万円	2.5百万円（自主財源） 5百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））
		事業番号5－⑩	7.5百万円	2.5百万円（自主財源） 5百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））
令和10年度	38.7百万円	事業番号1－③	6百万円	2百万円（自主財源） 4百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））
		事業番号1－④	3百万円	1百万円（自主財源） 2百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））
		事業番号1－⑩	6百万円	2百万円（自主財源） 4百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））
		事業番号3－①	3百万円	3百万円（自主財源）
		事業番号3－②	1.2百万円	0.4百万円（自主財源） 0.8百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））
		事業番号3－④	3百万円	1百万円（自主財源） 2百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））
		事業番号4－②	4.5百万円	1.5百万円（自主財源） 3百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））
		事業番号5－①	9百万円	3百万円（自主財源） 6百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））
		事業番号5－⑥	3百万円	1百万円（自主財源） 2百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））
令和11年度	26.1百万円	事業番号1－③	6百万円	2百万円（自主財源） 4百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））
		事業番号1－④	3百万円	1百万円（自主財源） 2百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））
		事業番号1－⑨	0.6百万円	0.2百万円（自主財源） 0.4百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））
		事業番号3－①	3百万円	3百万円（自主財源）
		事業番号5－④	12百万円	4百万円（自主財源） 8百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））
		事業番号5－⑥	1.5百万円	0.5百万円（自主財源） 1百万円（文化芸術振興費補助金（文化庁））
合計	844.75百万円			

9. 計画期間

令和 7 年度（2025 年度）～令和 11 年度（2029 年度）